



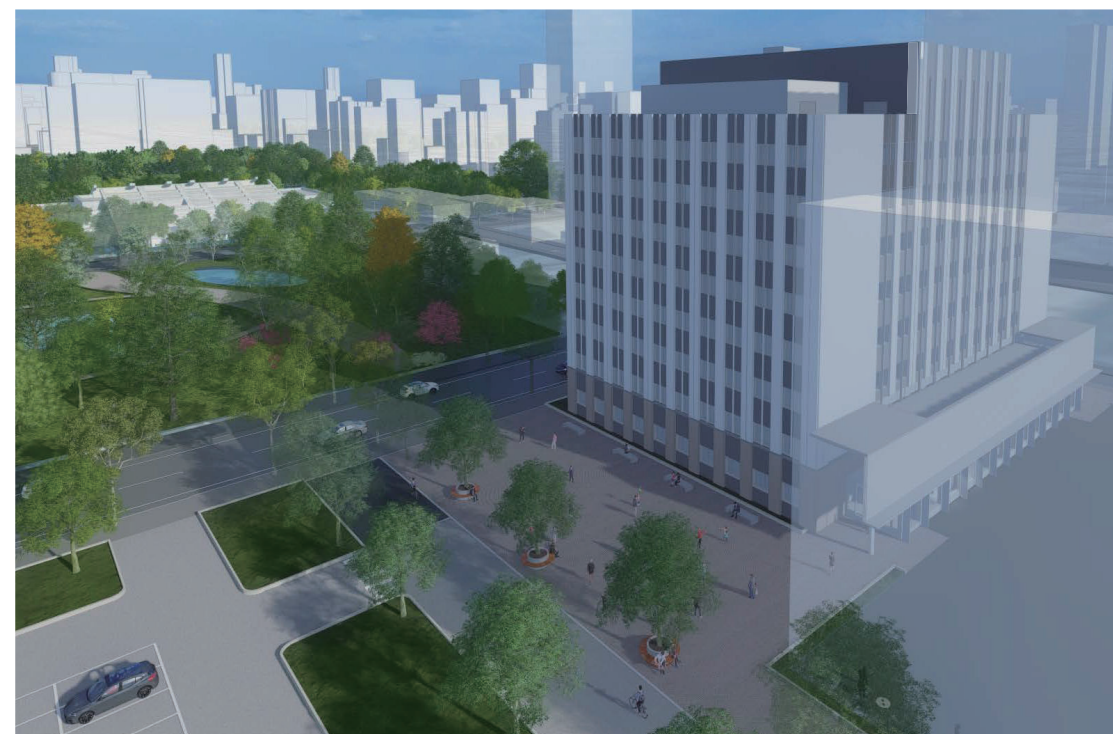
第4合庁完成時 敷地内アイレベルイメージ



敷地の高度利用時(将来計画) 敷地内アイレベルイメージ



西側からの俯瞰イメージ



プロムナード俯瞰イメージ1



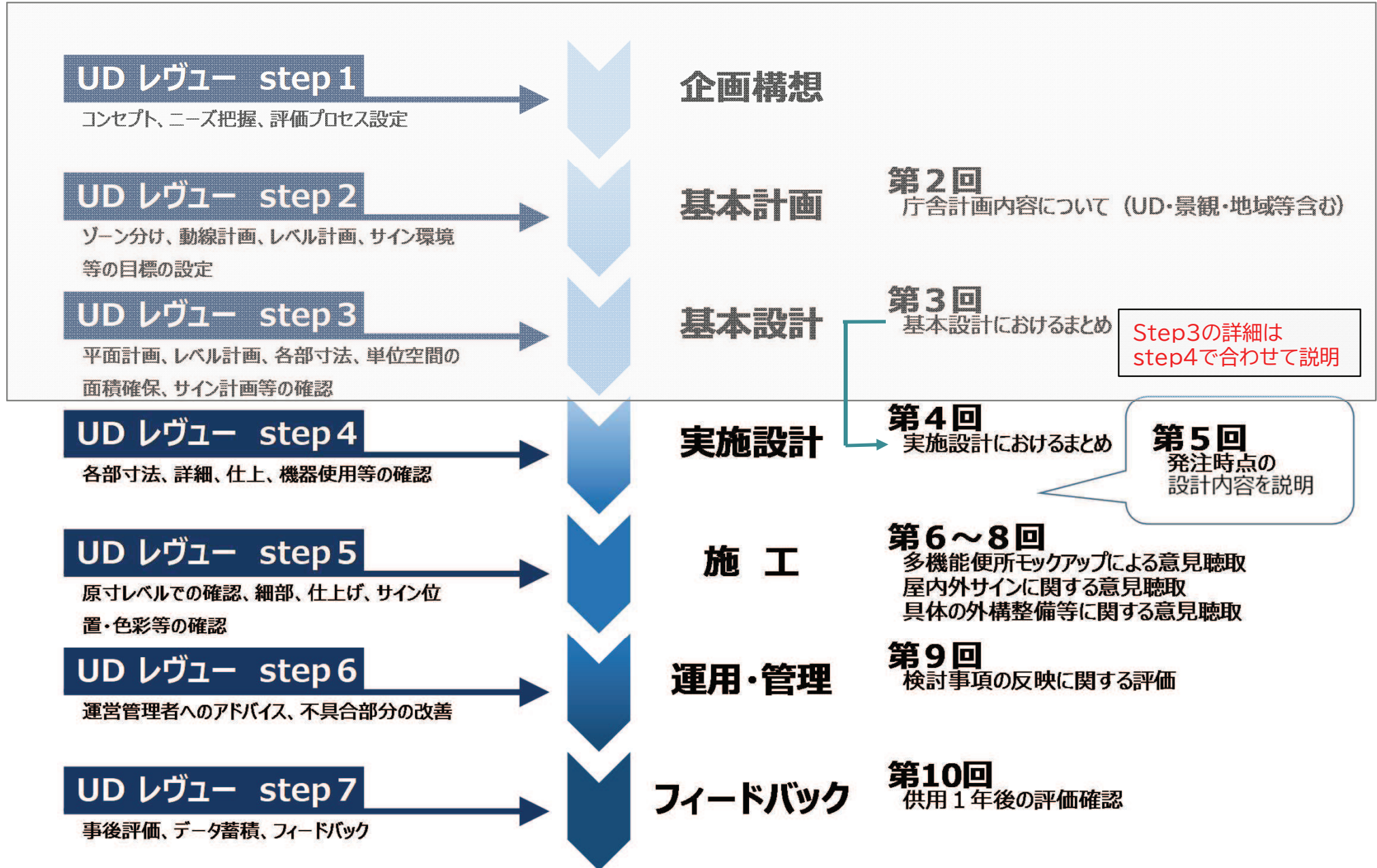
プロムナード俯瞰イメージ2

ユニバーサルデザインレビュー

北海道開発局 営繕部

ユニバーサルデザイン(UD)レビューと施設整備の流れ

各段階での主な視点 施設整備の流れ 地域連携懇談会 (予定)



官庁営繕におけるユニバーサルデザインの実現を目指した取組み

新たな官庁施設の整備にあたっては、高齢者、障害者等を含むすべての施設利用者が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる施設を目指し、法令において求められる内容を満たすのみではなく、事業の特性に応じ、地域住民を含めた施設利用者等から意見聴取を行うユニバーサルデザインレビュー(UDレビュー)を実施。

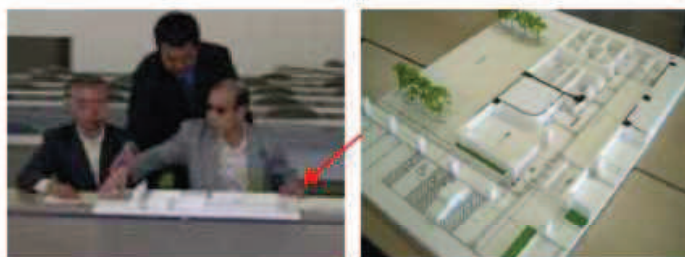
UDレビューとは

○ユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、評価、フィードバックといった一連の作業を施設整備の各段階において繰り返し行うことで、常に前の段階よりも高い水準を達成しようとするスパイラルアップの取組みのこと

UDレビューによるスパイラルアップのイメージ

【設計段階】

設計図、模型等を用いて確認



【施工段階】

現地での検証、実物大模型等による確認



UDレビューの実施方法

施設の特性に応じて、次の事項を検討し、利用者の意見を聴取

○どの段階で実施するか

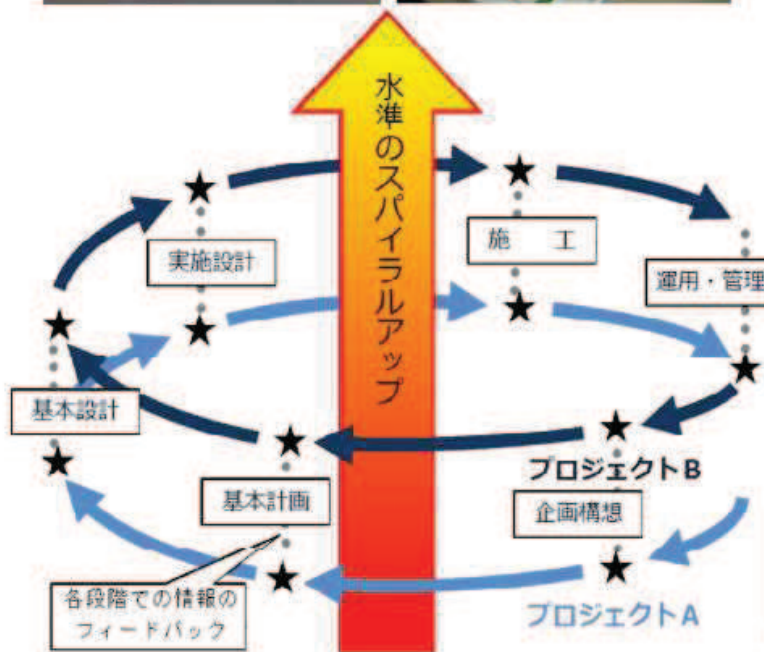
設計段階、施工段階、運営・管理段階

○どなたに参加いただくか

入居官署のほか、施設利用者、専門家、地方公共団体等

○どのような方法で実施するか

模型の活用、現地での検証等



【運用・管理段階】

完成施設の検証
→運用管理の参考、情報蓄積



UD レビュー step 3

平面計画、レベル計画、各部寸法、単位空間の
面積確保、サイン計画等の確認



基本設計

第3回 基本設計におけるまとめ

Step3の詳細については、基本設計の作業工程上からstep4で説明とします。
今回の説明は「平面計画」、「設計検討対象」等を対象とします。

Step3で説明

- ▽ 移動空間
〈建物外部〉
 - ①敷地出入口
 - ②歩行者専用通路
 - ③自転車路・駐輪場
 - ④車路
 - ⑤駐車場
 - ⑥車寄せ

●配置計画図

- ▽ 移動空間
〈建物内部〉
 - ①出入口
 - ②エントランス
 - ③受付・案内設備
 - ④廊下
 - ⑤階段
 - ⑥エレベーター
 - ⑦各室出入口
 - ⑧食堂・売店

●1階平面図

Step4で説明

▽ 行為空間

- ①待合
- ②窓口
- ③執務室・会議室
- ④トイレ
 - 1 共通事項
 - 2 多機能・機能分散
 - 3 一般
 - 4 洗面カウンター
- ⑤授乳室等
- ⑥休憩
- ⑦湯沸室
- ⑧エントランスコリドー

▽ 情報

- ①視覚情報
- ②触知情報
- ③音声情報
- ④人的対応

▽ 環境

- ①光環境
- ②音環境
- ③熱環境
- ④空気室環境

▽ 安全

- ①避難
- ②防犯

札幌第4地方合同庁舎整備事業 地域連携懇談会 開催スケジュール(案)

		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度																			
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月																
開催日程				●第1回				●第2回(step2)				●第3回(step3)				●第4回(step4)				●第5回				●第6回				●第7回				●第8回				●第9回				●第10回	
全体	懇談会主旨	○主旨説明(設計段階)								○工事発注後 ○工事期間中(施工段階)								○完成				○完成後1年																			
周辺環境・景観	経緯・概要・周辺環境・配置・色彩・植栽等	●経緯説明 ●周辺環境				●実施設計とりまとめ(図面・計画内容等)				●図面・各種資料・●色彩・環境検証								●運用確認																							
	検証・フィードバック	●基本設計段階				●基本設計段階(図面・パース・材料等)				●反映内容検証								●完成検証																							
		基本段階				実施設計				施工段階				施工段階				完成検証				運用段階																			
ユニバーサルデザイン	主旨・概要・屋内外空間、案内、構内計画等	●主旨説明				●基本計画提示・意見収集				●機能確認								●サインモックアップ																							
	検証・フィードバック	●基本計画とりまとめ				●反映内容検証								●反映内容検証				●完成検証																							
		計画段階				実施設計																																			
事業概要	基本設計	設計・基本段階																																							
	実施設計	実施設計・積算・各種申請																																							
	建設工事	車庫									▼工事発注(手続)								工事期間				▼完成予定																		
		庁舎(計画)									▼工事発注(手続)								工事期間				▼完成予定																		
入居官署																																									
備考																																									

札幌第4地方合同庁舎整備事業
地域連携懇談会(第4回)

資料4

札幌第4地方合同庁舎整備事業計画について

外部空間

10. 外構計画

10-1. 外構計画基本方針

- ・今回の外構計画は、プロムナードより南側を整備範囲とする。
- ・札幌市の「建築物における駐車施設の設置等に関する条例」より、敷地全体で112台分の駐車施設を計画する。(内2台は身障者用車室とする。)
- ・今回計画においては、駐車場87台、車庫34台、庁舎1階車庫13台分を整備する。
- ・敷地外周部には、基本的には歩道や柵などを設けず、緑で区分する考え方とする。
- ・敷地外周部はまとまった緑を配置し、周辺地域との街路環境の連続や日影の演出、車両の騒音に配慮することで、地域住民が親しみやすい外構空間とする。

10-2. 舗装計画

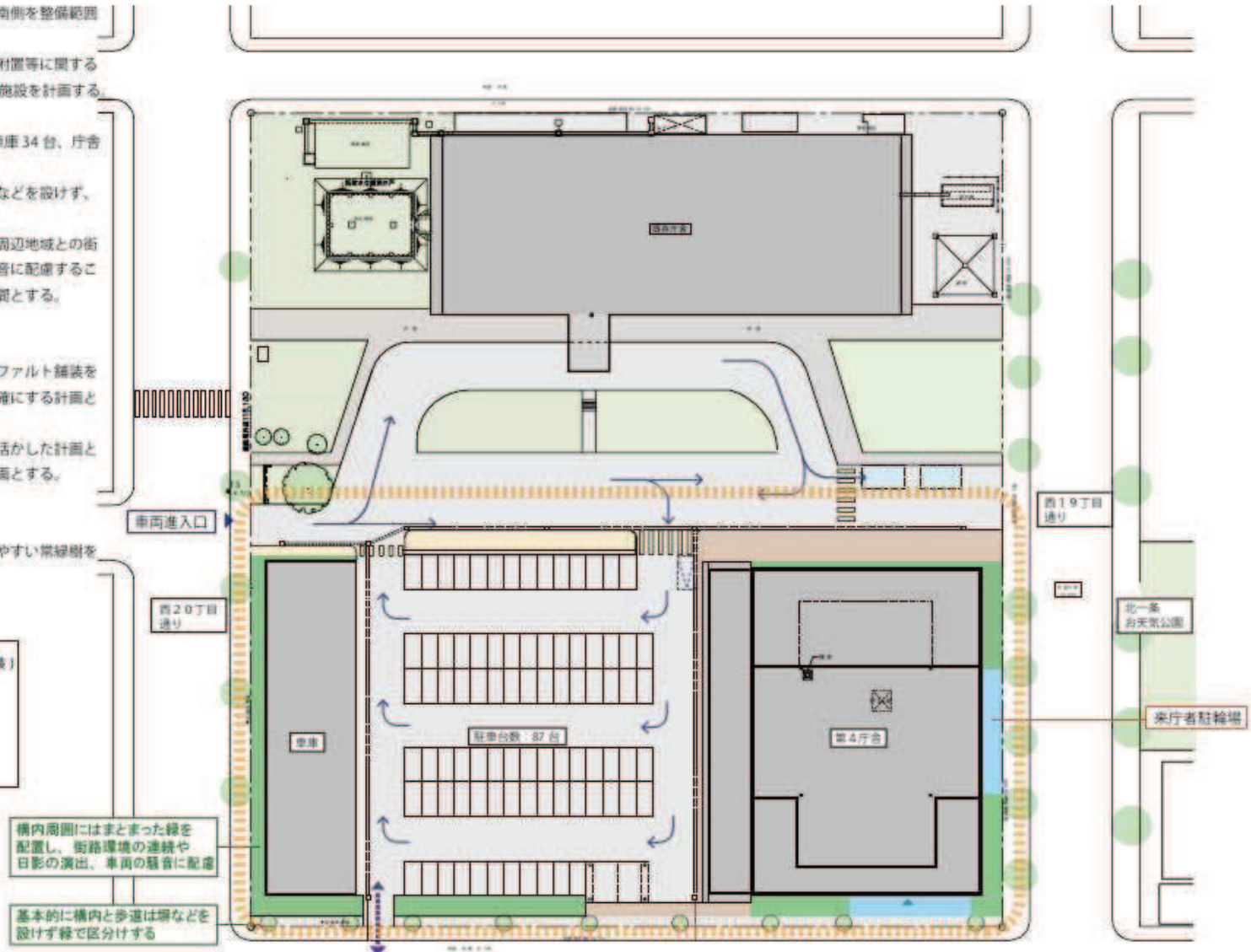
- ・インターロッキング舗装やカラーアスファルト舗装を効果的に用いることで、歩行空間を明確にする計画とする。
- ・駐車場は、既存のアスファルト舗装を活かした計画とすることで、コスト削減に配慮した計画とする。

10-3. 植栽計画

- ・寒冷地であることに配慮し、管理のしやすい常緑樹を選定する。

凡例

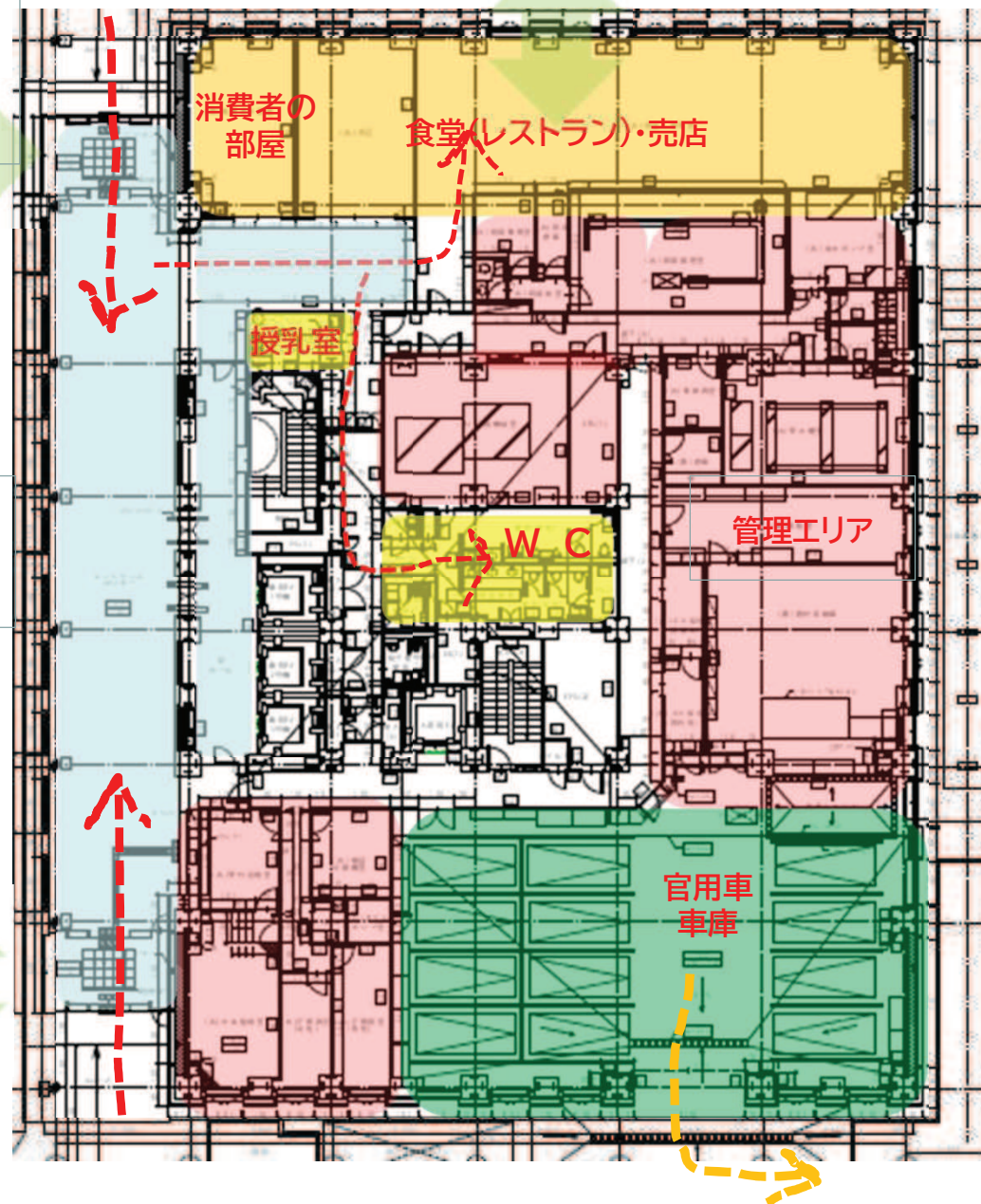
- : 既存舗装(一部オーバーレイ舗装)
- : インターロッキング舗装
- : カラーアスファルト舗装
- : カラーコンクリート舗装



内部空間

将来の高度利用～
西側にはコリドーの
透明感を北側に拡張
する計画(案)

エントランスコリドー
(小さな美術館)
南北の縦断する透明感



プロムナード
内外部の視界開放

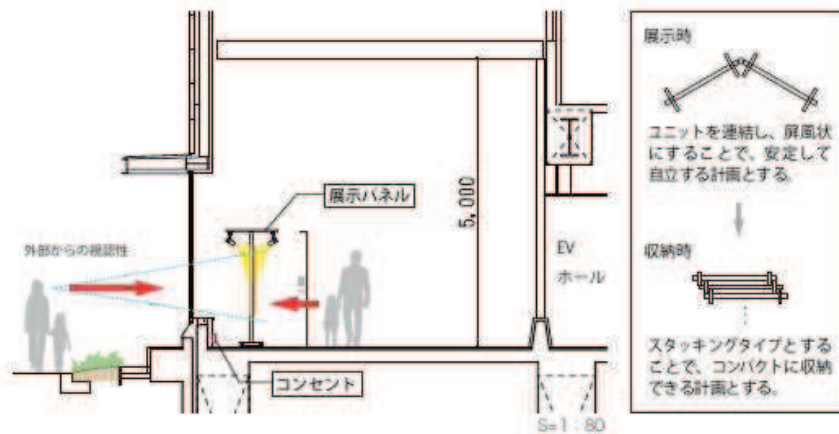
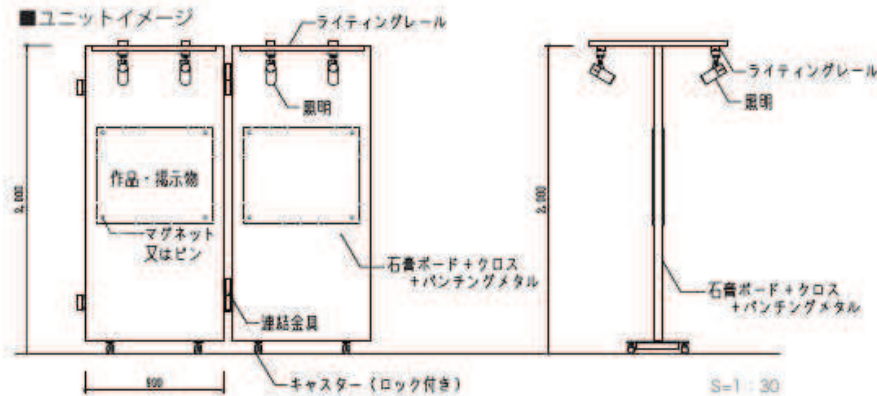
南出入口
(歩車分離)

内部空間

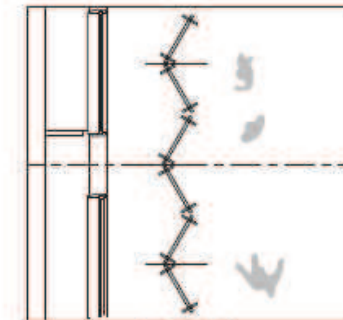
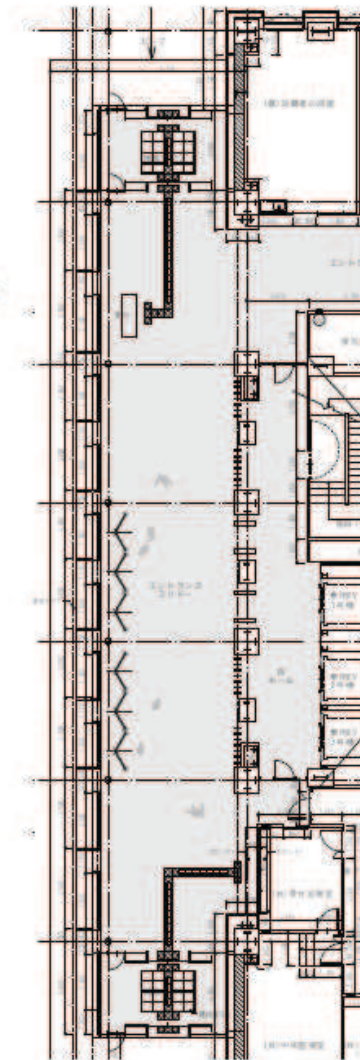
■エントランスコリドー ミニ美術館利用イメージ

展示パネルユニット

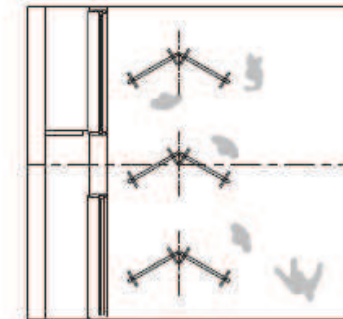
- ・展示パネル（造作家具）により、ミニ美術館利用時にフレキシブルにレイアウト可能な計画とする。
- ・ユニットを連結し、屏風状にレイアウトすることで転倒に対する安定性に配慮するとともに、コンパクトに収納できる計画とする。
- ・パネルはボード等 + 掲示用壁紙 + パンチングメタルとすることで、マグネット及びピンにより作品や案内等を掲示できる仕様とする。



■屏風レイアウトイメージ

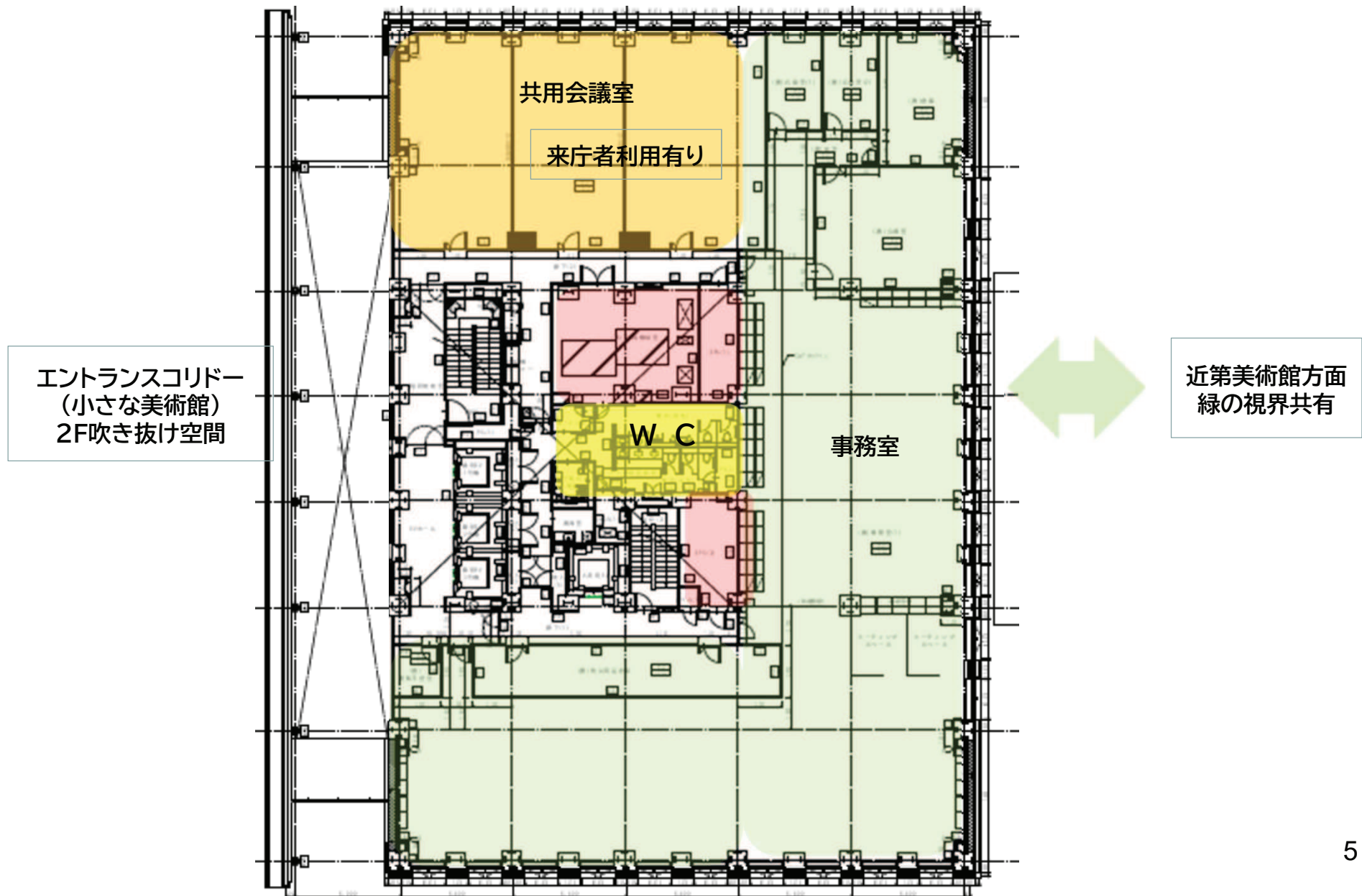


レイアウト①



レイアウト②

内部空間



札幌第4地方合同庁舎整備事業
地域連携懇談会(第4回)

資料5

ユニバーサルデザイン・防災計画について

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインレビュー step4 実施設計

ユニバーサルデザイン

各段階での主な視点 施設整備の流れ 地域連携懇談会 (予定)



車椅子使用者用便房等の整備に関連する法令及びガイドライン

	バリアフリー法	関連ガイドライン
旅客施設	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通移動等円滑化基準 [平成30年10月改正] (移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令) 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編) [平成30年7月改訂] (※最新は令和2年3月版)
道路	<ul style="list-style-type: none"> 道路移動等円滑化基準 [平成24年4月改正] (移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路の移動等円滑化整備ガイドライン [平成23年8月第3版]
都市公園	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園移動等円滑化基準 [平成24年4月改正] (移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令) 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン [平成24年3月改訂]
建築物	<ul style="list-style-type: none"> 建築物移動等円滑化基準 [平成30年10月改正] (高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令) 建築物移動等円滑化誘導基準 [令和元年6月改正] (高齢者、障害者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき建築物特定施設の構造及び配置に関する基準を定める省令) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障害者等の円滑な移動に配慮した建築設計標準 [平成29年3月改正]

公共交通移動等円滑化基準／バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編) 平成30年3月改正のポイント(抜粋)

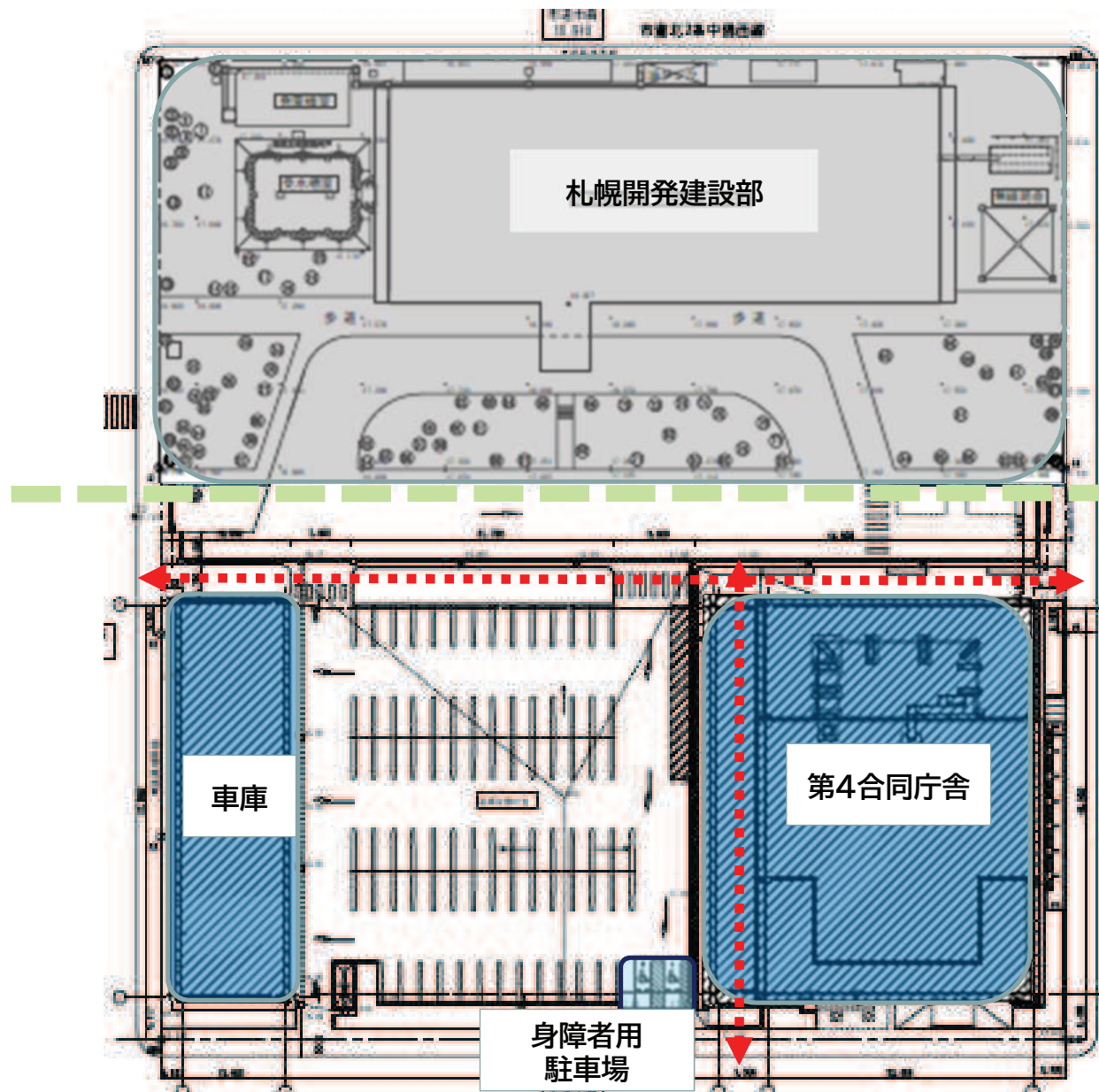
- 車椅子使用者用便房、オストメイト用設備を有する便房を分割して設置することが可能に(基準)
- 車椅子使用者用便房、オストメイト用設備を有する便房、乳幼児連れ設備を有する便房等について、機能分散を推進するための記述を充実(ガイドライン)

建築設計標準 平成29年3月改正のポイント(抜粋)

- 車椅子使用者用便房、オストメイト用設備を有する便房、乳幼児用設備等について、一層の機能分散や小規模施設、既存建築物の整備を進めるための記述の充実

北海道福祉のまちづくり条例(申請要)

ユニバーサルデザイン(外部)



本改修範囲外
(札幌開発建設部)

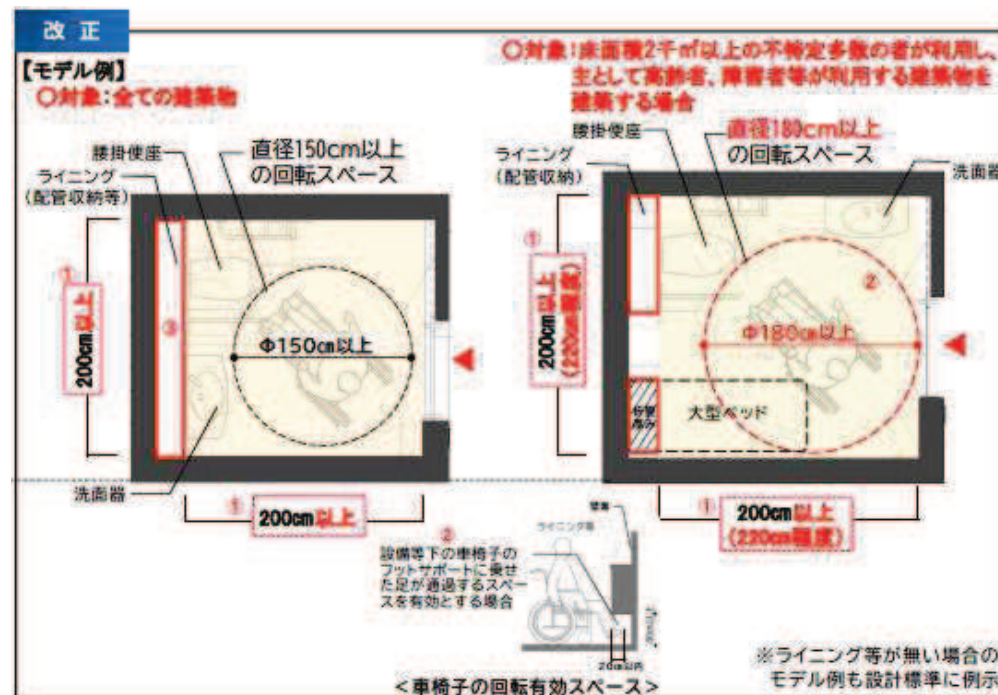
- ・構内段差無し(スロープ:規定勾配)
- ・パブリック:自動ドア・引き戸
- ・昇降路(階段・EV)及び通路設定
- ・外部サイン計画(現場モックアップ決定)
- ・排水溝などの仕様設定
- ・構内仕上げ材の仕様設定

ユニバーサルデザイン(内部)

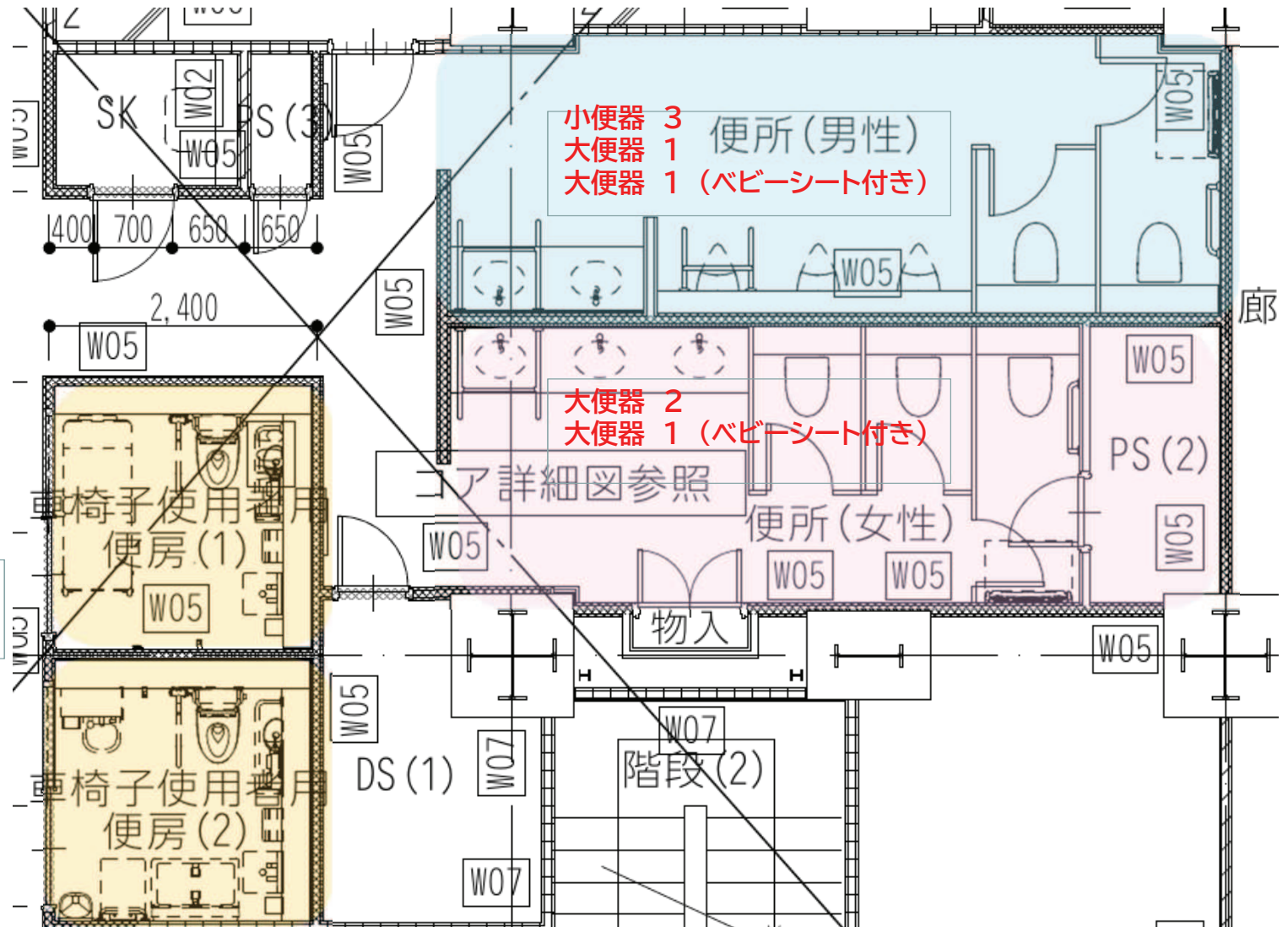
2.1 共通事項

2.1.1 バリアフリー法に関する事項

- (1) バリアフリーについては、基準2.1.1の規定に適合させようとして、「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」(平成18年3月31日国営整第157号、国営設第163号)に基づき、施設利用者の視点から、ユニバーサルデザインレビュー(より利用しやすい施設の整備を目指し、施設整備の各段階において行う、ユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、評価及び検証並びにフィードバックのプロセスをいう。)を行うなどして、高齢者、障害者等を含むすべての施設利用者が、できる限り円滑かつ快適に利用できるものとする必要がある。
- (2) 高齢者、障害者等の利用に配慮した設計方法については、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」(令和2年度 国土交通省)を併せて参照し、その趣旨を踏まえ、必要に応じて設計に反映する。

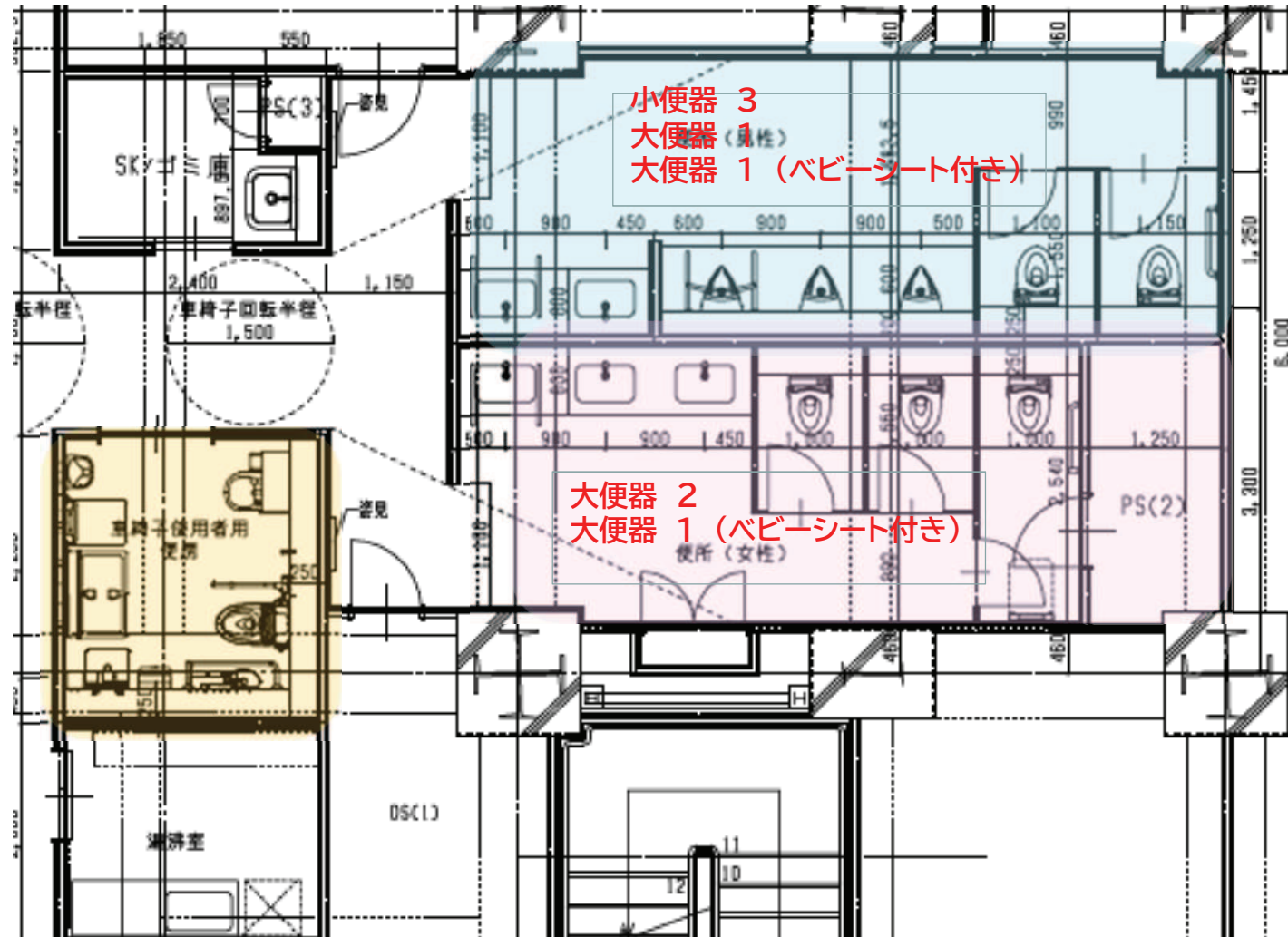


ユニバーサルデザイン



仕様の異なる便房
(新基準適用)

ユニバーサルデザイン



ユニバーサルデザイン

授乳室

- ・授乳室は、ソファ、ベビーベッド（おむつ交換用）、授乳用温水器を設置する。
- ・授乳室内は、スチールパーティションカーテンにより、扉が閉じた際に内部が見えないよう配慮する。
- ・授乳スペースはカーテンで区切り、2ブース設けることで男性、女性ともに利用できる計画とする。

■家具・備品イメージ



①ベビーベッド

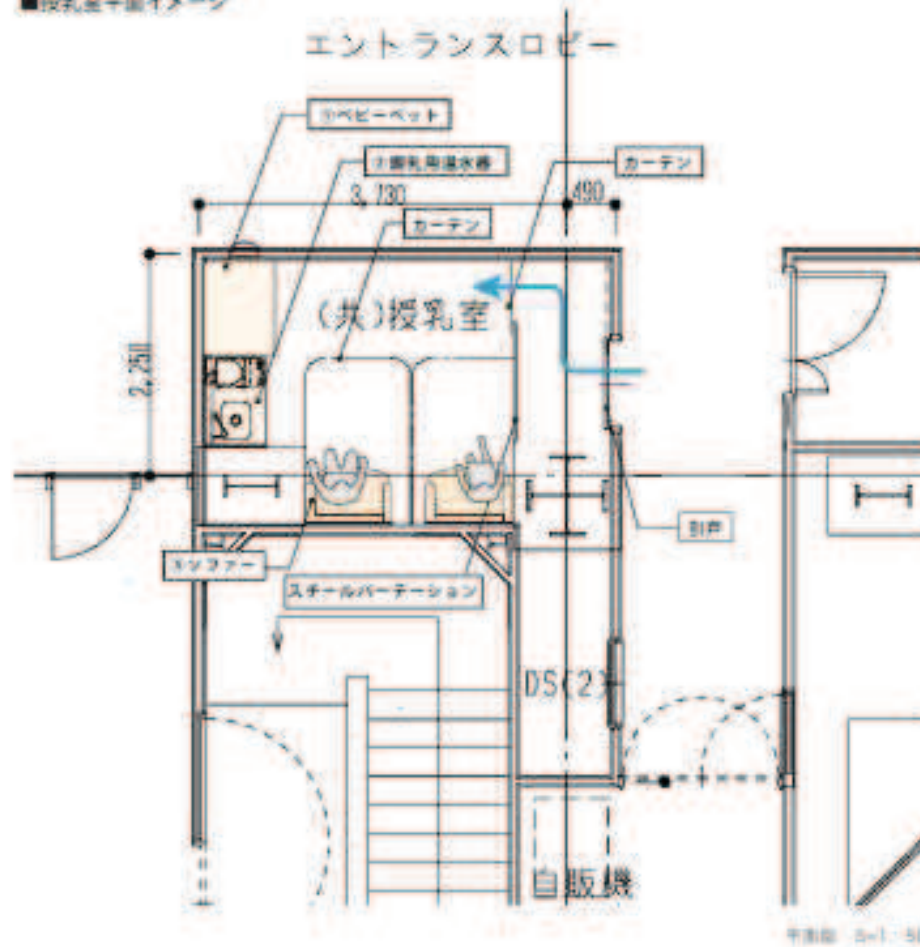


②授乳用温水器



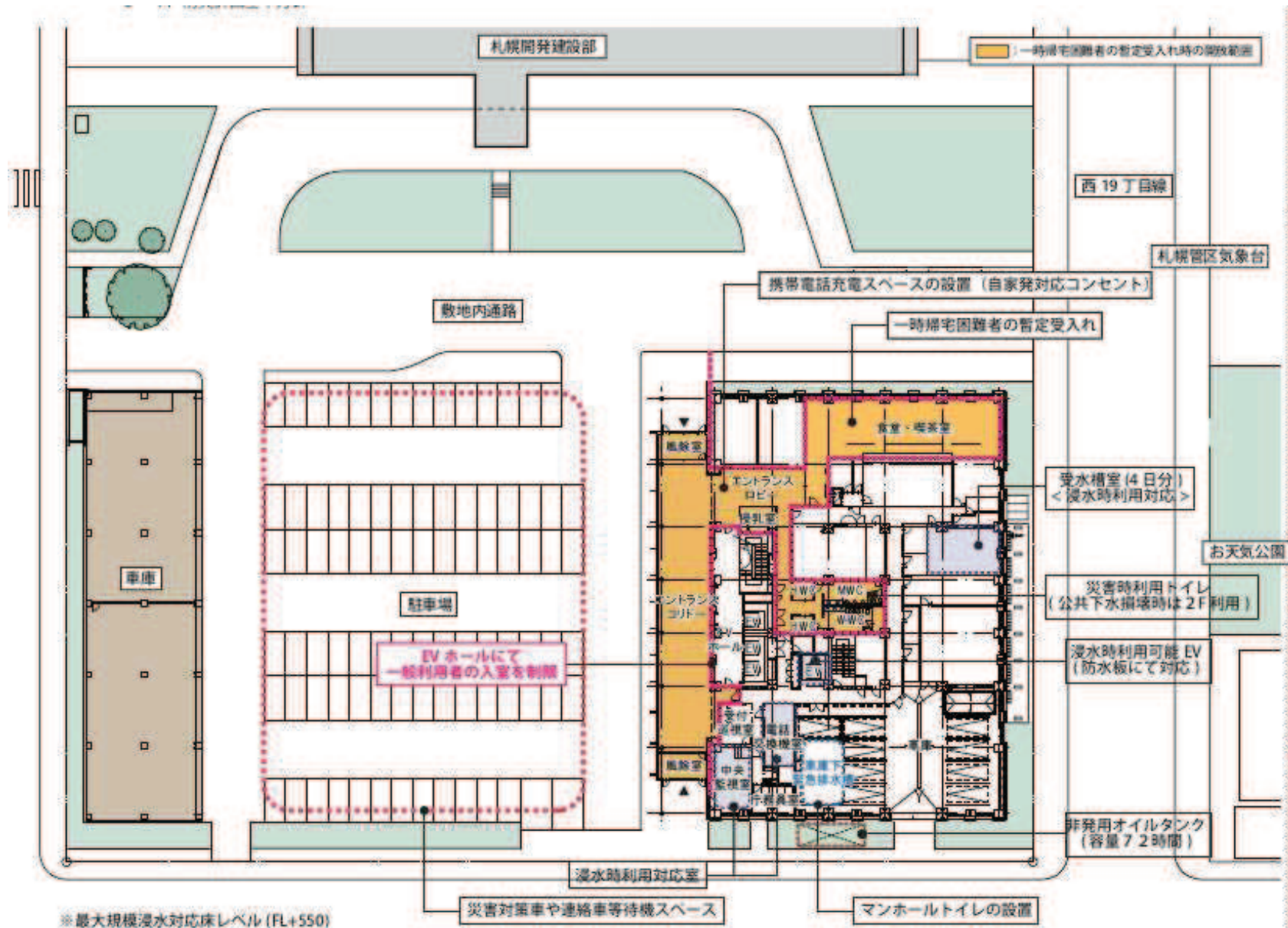
③ソファ

■授乳室平面イメージ



防災拠点施設機能

防災拠点施設機能



防災拠点施設機能

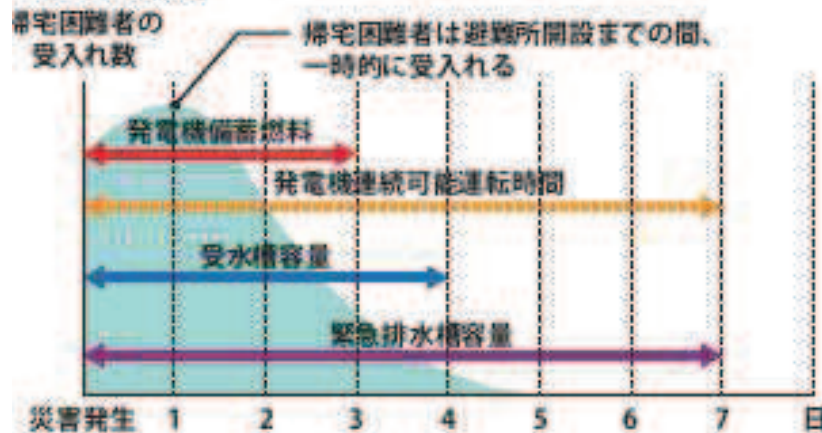
■整備方針

災害時の応急対策活動の拠点となる農政事務所及び運輸局を耐震化・集約化し、札幌開発建設部構内に整備することで、更なる防災対策活動の連携強化を目的として計画する。
また、災害対策拠点として、業務の継続性を有する施設として計画するとともに、市街地の立地であることから、一時帰宅困難者の暫定受入れを考慮した計画とする。

■災害時の主な活動内容

- 農政事務所：食料物資支援のための活動
- 運輸局：緊急輸送・緊急物資輸送・代替輸送の支援、交通機関の運行情報提供
- 開発建設部：交通・港湾・治水・建築・電気通信等の復旧活動の中心

■施設防災機能



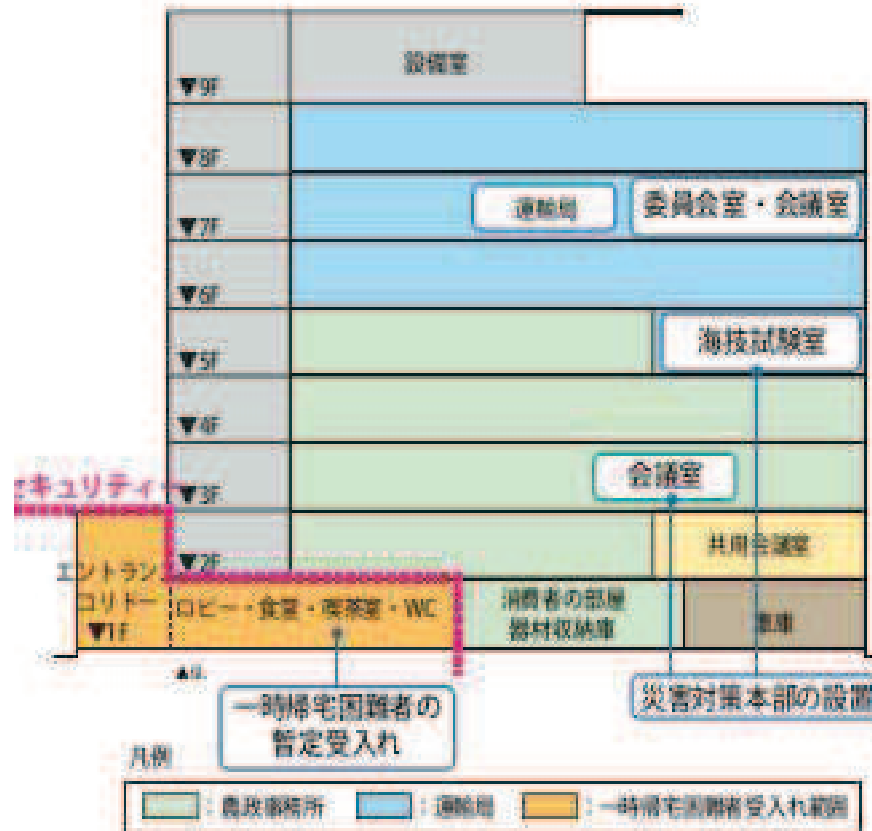
【上水計画】

- ・災害時に飲用水を供給できる容量(4日間分)を受水槽で貯水する。
- ・雑用水槽の水源に雨水を利用し、災害時のトイレ洗浄水として利用する。

【下水計画】

- ・緊急排水槽(7日間分)を設置する。
- ・マンホールトイレを設置する。

■施設構成 (災害対策時)



【建築計画】

- ・1階のエントランス廻りを一時帰宅困難者の暫定受入れ場所として利用する。
- ・1階ロビーに充電スペースを設置する。

【電気設備計画】

- ・非常用発電機(168時間対応)を設置し、72時間分の燃料を備蓄する。

札幌第4地方合同庁舎整備計画及び 地域連携懇談会について

北海道開発局営繕部





・ I 期庁舎

■庁舎

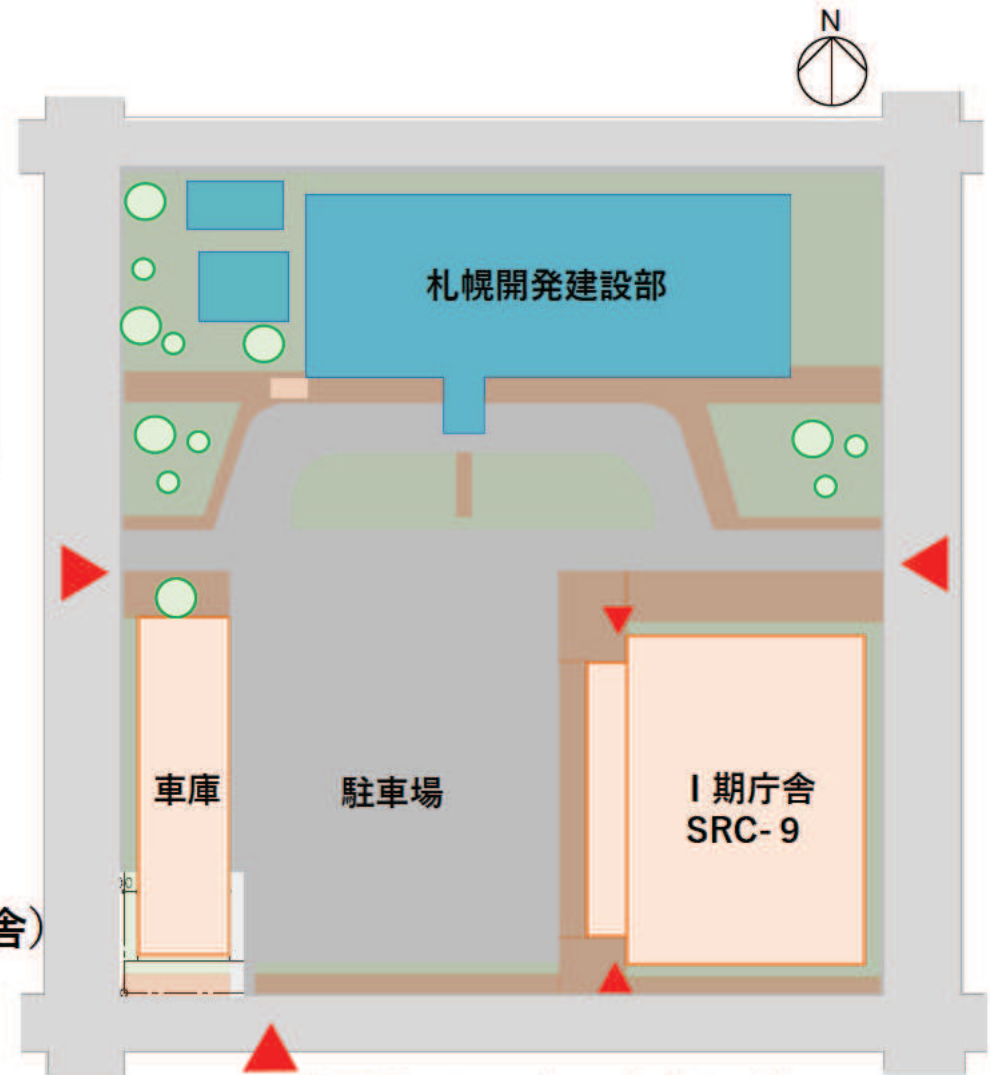
- ・ 構造規模 : SRC造 地上9階
- ・ 延べ床面積 : 13,459 m²

■車庫【R5 完成済み】

- ・ 構造規模 : SRC造 平屋建て
- ・ 延べ床面積 : 610 m²

・ 入居官署

- 1) 北海道農政事務所
建設：平成7年【民間ビル】
※耐震性能不足、民借、狭あい等
- 2) 北海道運輸局（札幌第2合同庁舎）
建設：昭和43年（築56年）
※耐震性能不足、狭あい 等



I 期配置計画図（R7完成予定）

I 期庁舎 工事の進捗状況①

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1



I 期庁舎 工事の進捗状況②

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1



I期庁舎 完成イメージ図

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1



・ II期庁舎

■庁舎

- ・構造規模 :SRC造 地上9階
(要求内容)
- ・延べ床面積:19,213m²

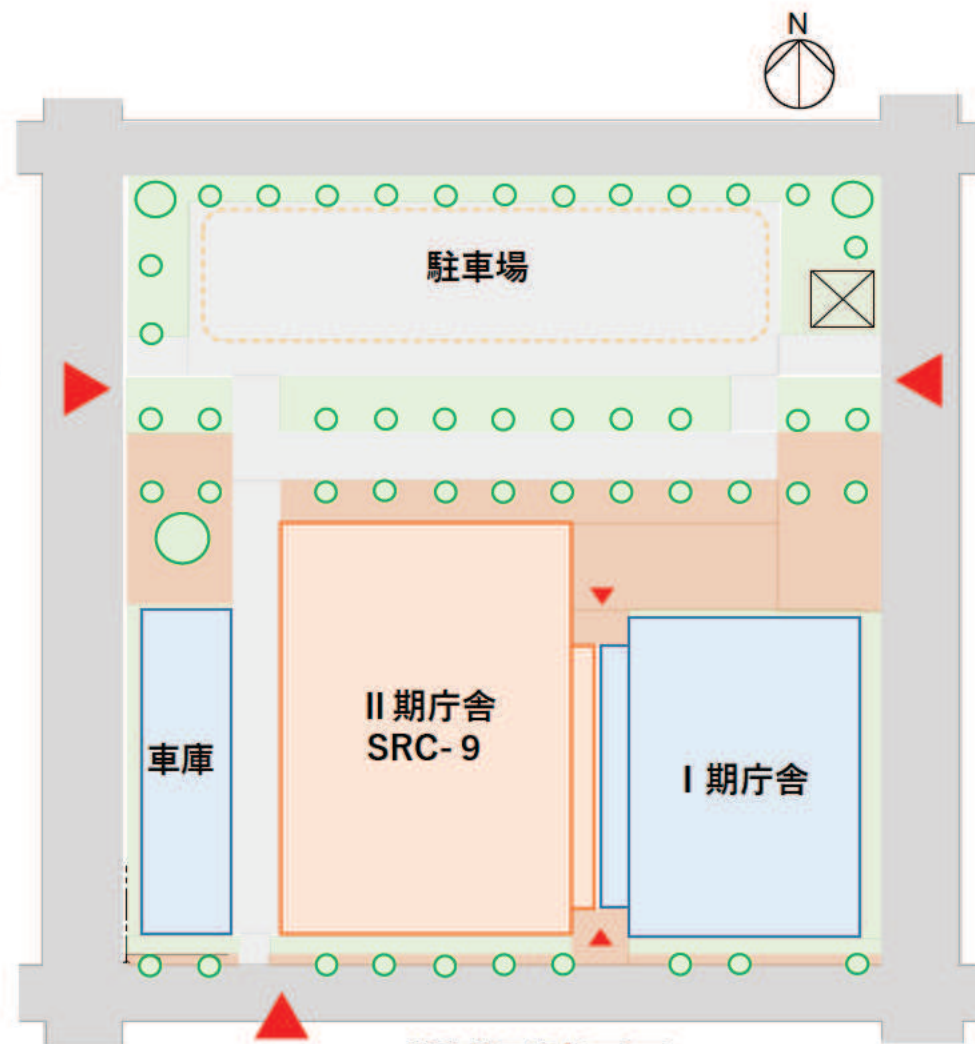
・ 入居官署

3) 札幌開発建設部

- 建設:昭和40年(築59年)
- ※老朽、浸水の恐れ等

4) 札幌管区気象台

- 建設:昭和40年(築59年)
- ※老朽、狭あい、浸水の恐れ等



II期配置計画図

第1回(令和4年1月)

- ・整備事業概要(配置案)
- ・敷地周辺環境との関係性(条件整理)
- ・ユニバーサルデザイン(これまでの開発局の取組)

第2回(令和4年3月)

- ・庁舎計画(平面計画、プロムナード)
- ・敷地周辺環境との関係性(緑の連続、歴史文化軸)

第3回(令和4年6月)

- ・庁舎計画(コリドー、ミニ美術館)
- ・敷地周辺環境との関係性(建物ボリューム、外観、CG)
- ・ユニバーサルデザインレビュー(検討状況報告)

第4回(令和4年12月)

- ・庁舎計画(設計の詳細、ミニ美術館イメージ)
- ・ユニバーサルデザインレビュー、防災計画(トイレ、授乳室、帰宅困難者受入)
- ・保育園のお散歩同行調査進捗報告(科学大生による調査研究報告)

分科会(令和6年7月)

- ・カラーユニバーサルデザイン勉強会

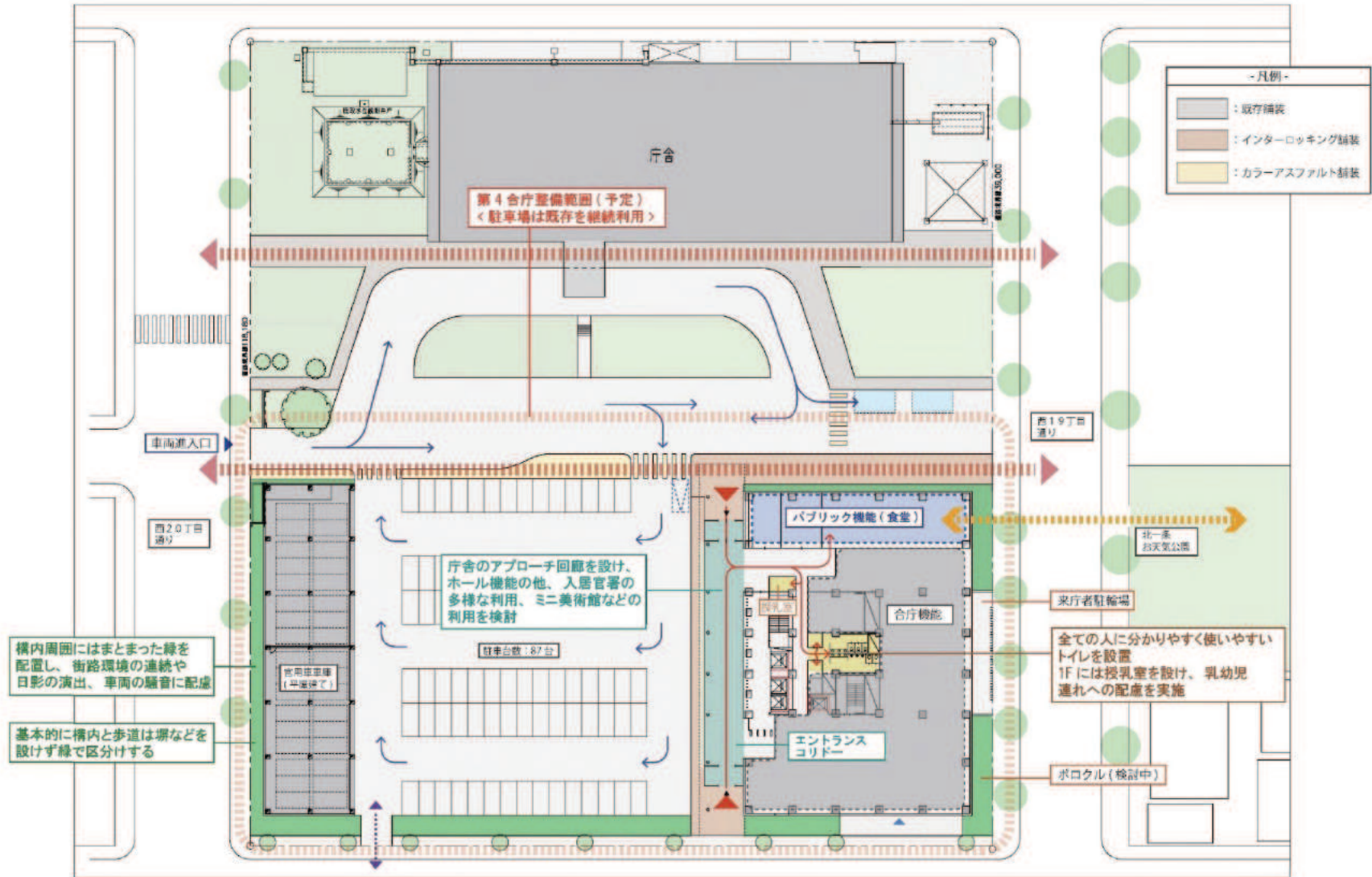
第5回(令和6年12月)

- ・サイン検証の方向性(カラーユニバーサルデザイン・科学大研究)
- ・札幌第4合同庁舎2期計画概要説明

パブリックスペースの検討① | 期庁舎完成時

参考資料2-11-2
地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1

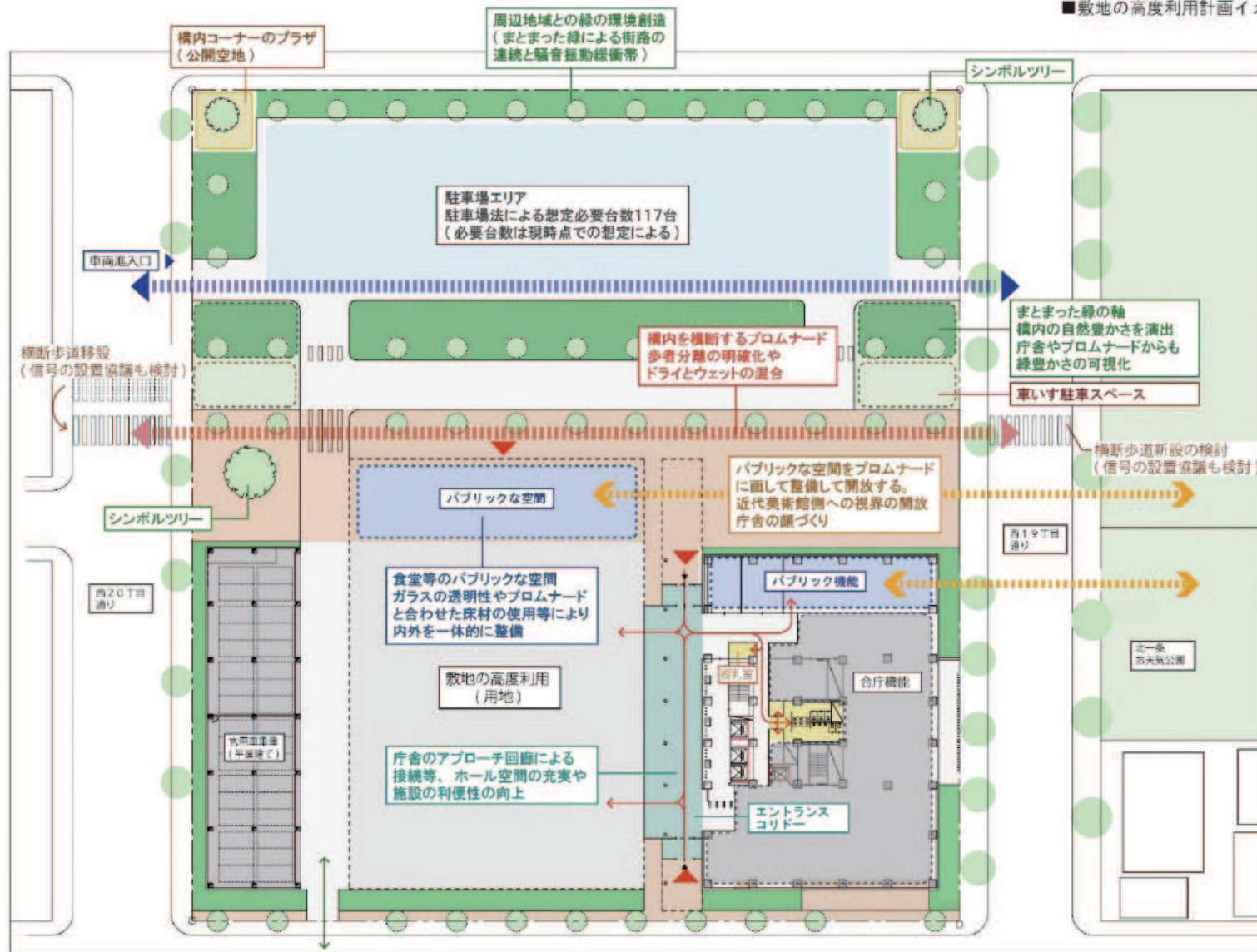
■第4合庁完成時 全体配置イメージ



パブリックスペースの検討② II 期庁舎完成時

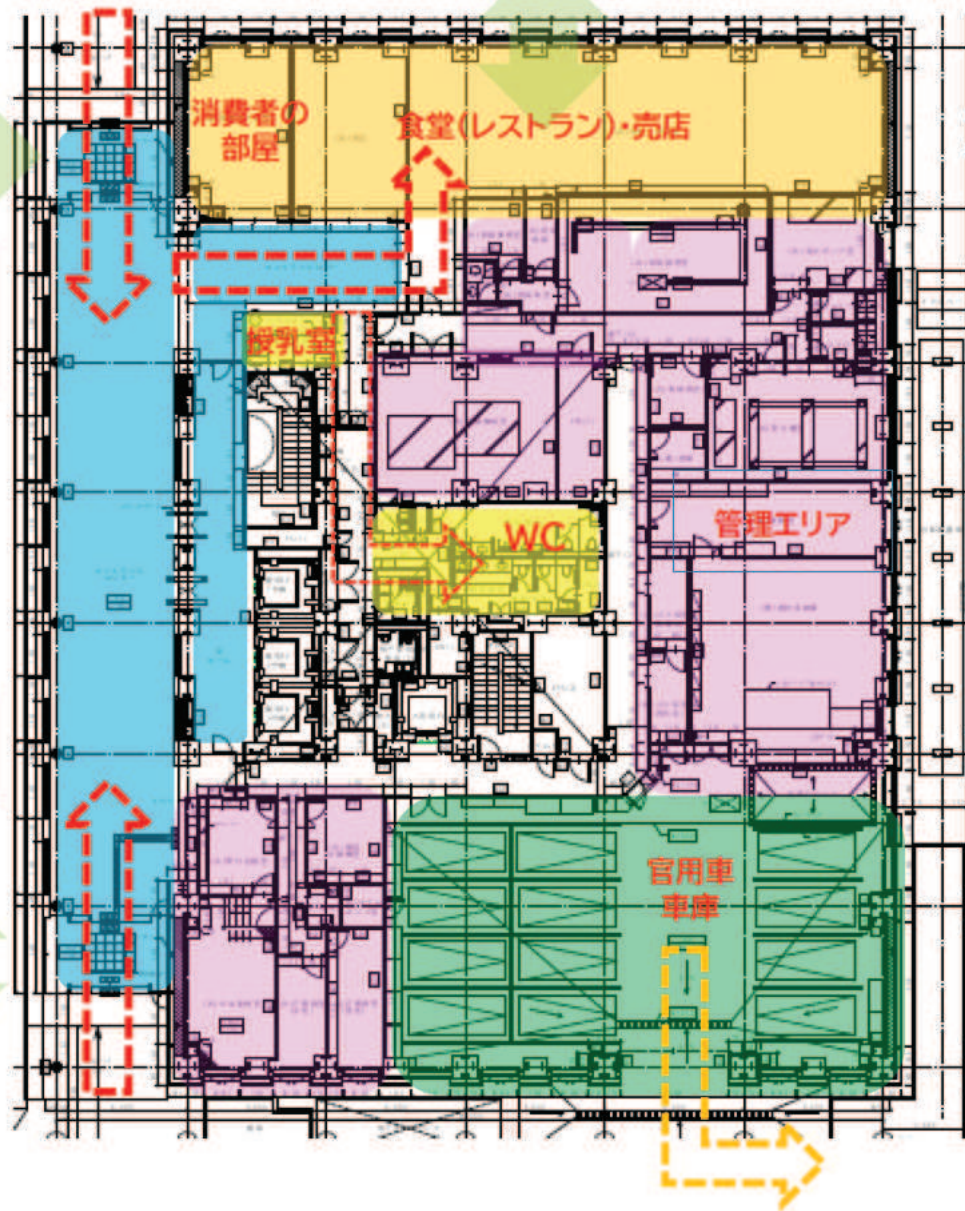
参考資料2-11-2
 地域連携懇談会に関する資料
 (第5回懇談会配布資料)-資料1

■敷地の高度利用計画イメージ案



パブリックスペースの検討③ 1階内部空間

参考資料2-11-2
地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1



将来の高度利用～
西側にコリドーを拡張
する計画(案)

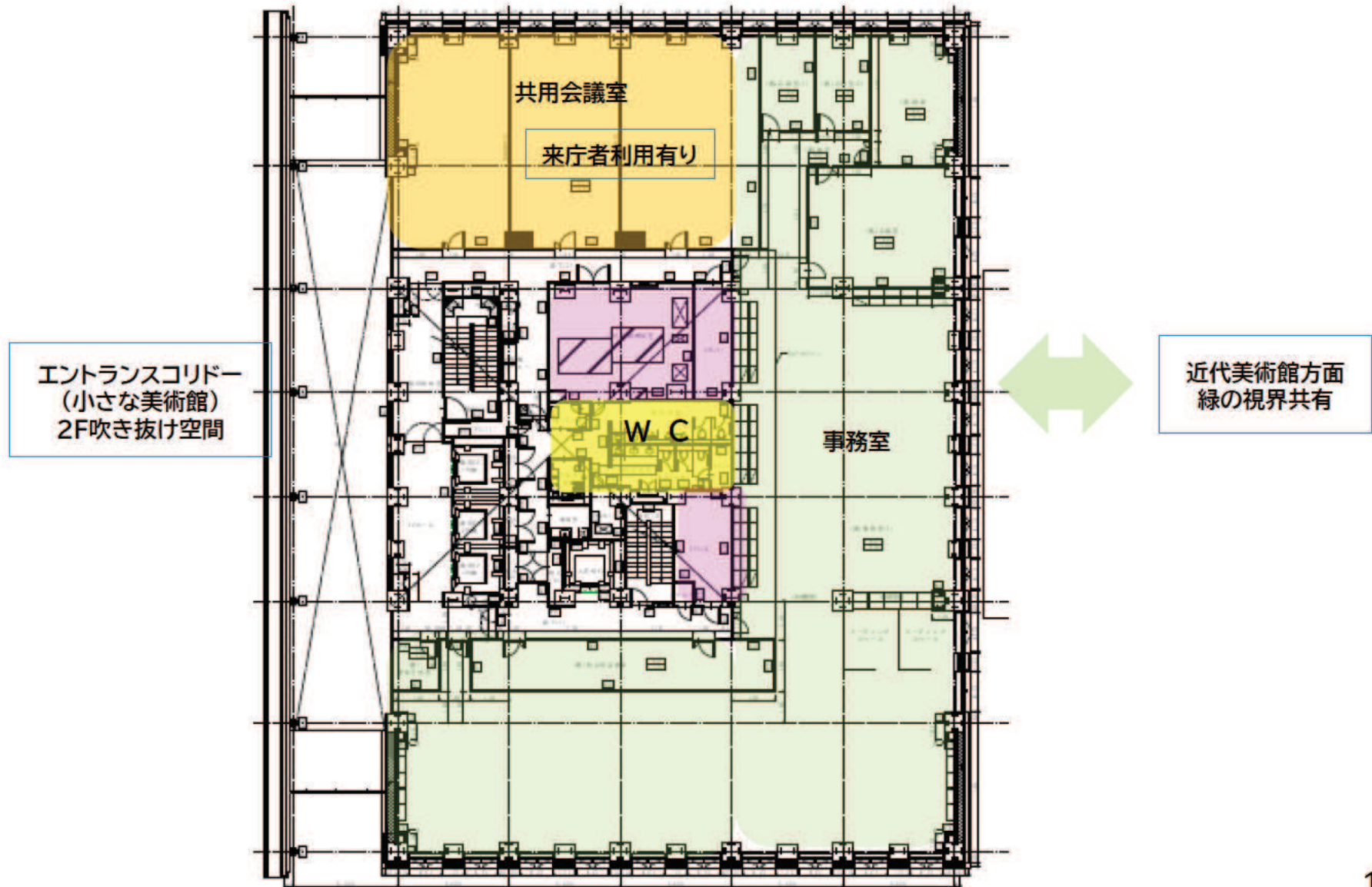
エントランスコリドー
(小さな美術館)

プロムナード
内外部の視界開放

南出入口
(歩車分離)

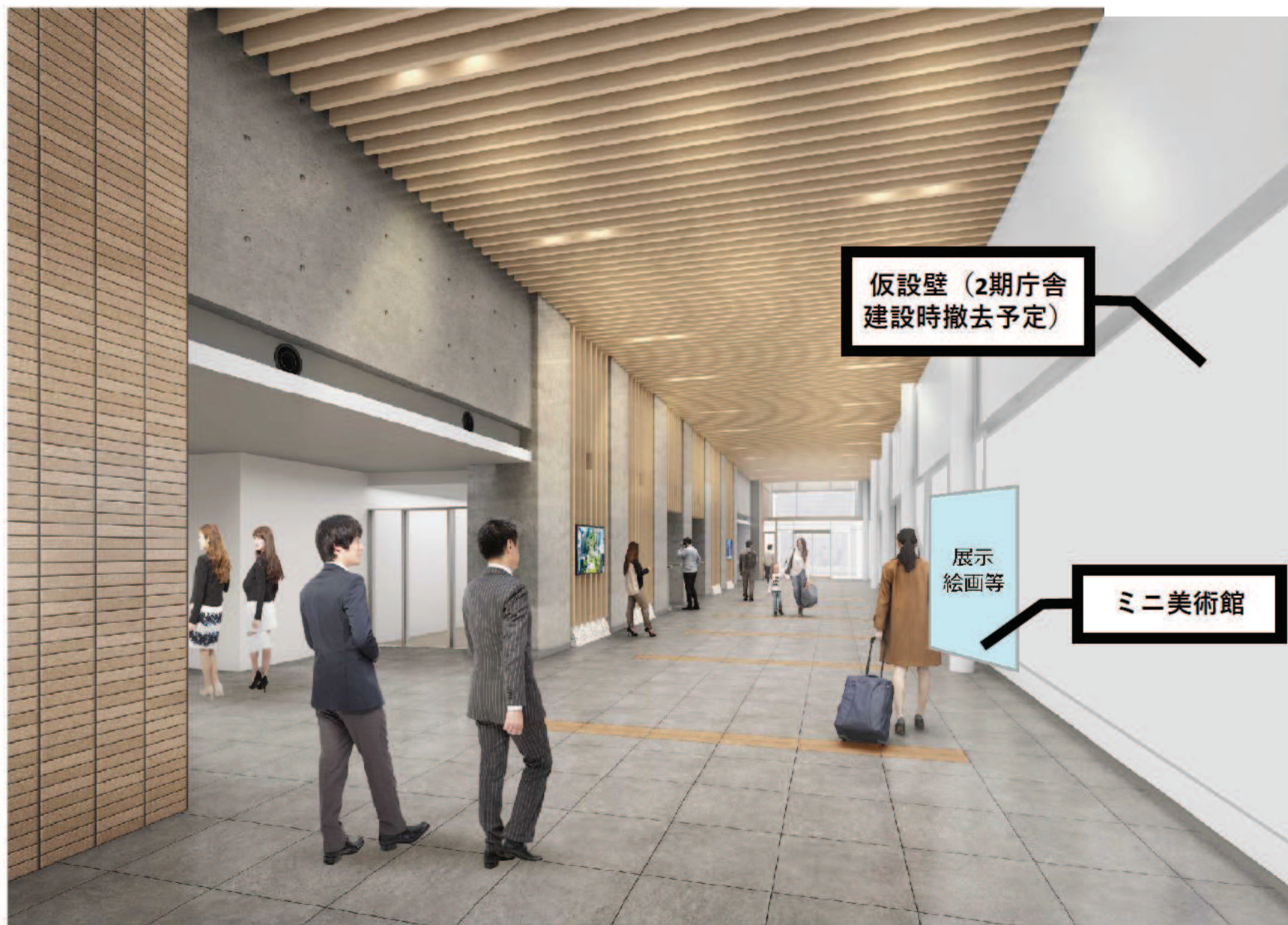
パブリックスペースの検討④ 2階内部空間

参考資料2-11-2
地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1



パブリックスペースの検討⑤ ミニ美術館について

参考資料2-11-2地域連携
懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)
資料1



ユニバーサルデザインの検討① 官庁営繕における取り組み

参考資料2-11-2地域連携
懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)
資料1



段差がなく、見通しのよいアプローチ通路
視覚障がい者誘導用ブロックの敷設



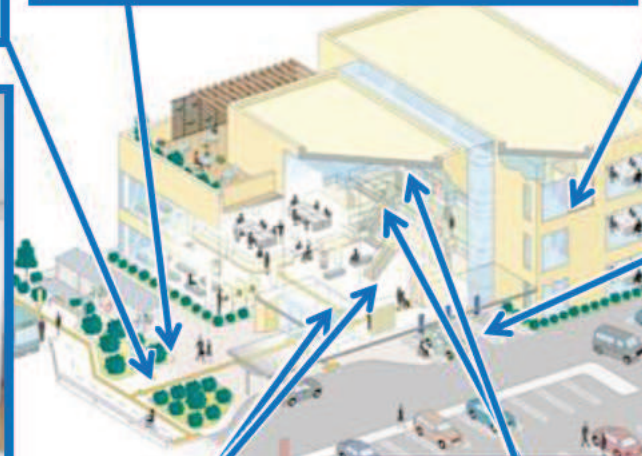
まちなみに配慮した憩いの空間



誰もが利用しやすいトイレ



誰もが使える総合案内板



玄関や窓口業務
事務室の出入り口
の自動ドア化

緩やかな勾配の
手すり付き階段
車いす使用者も
楽に通過できる
廊下



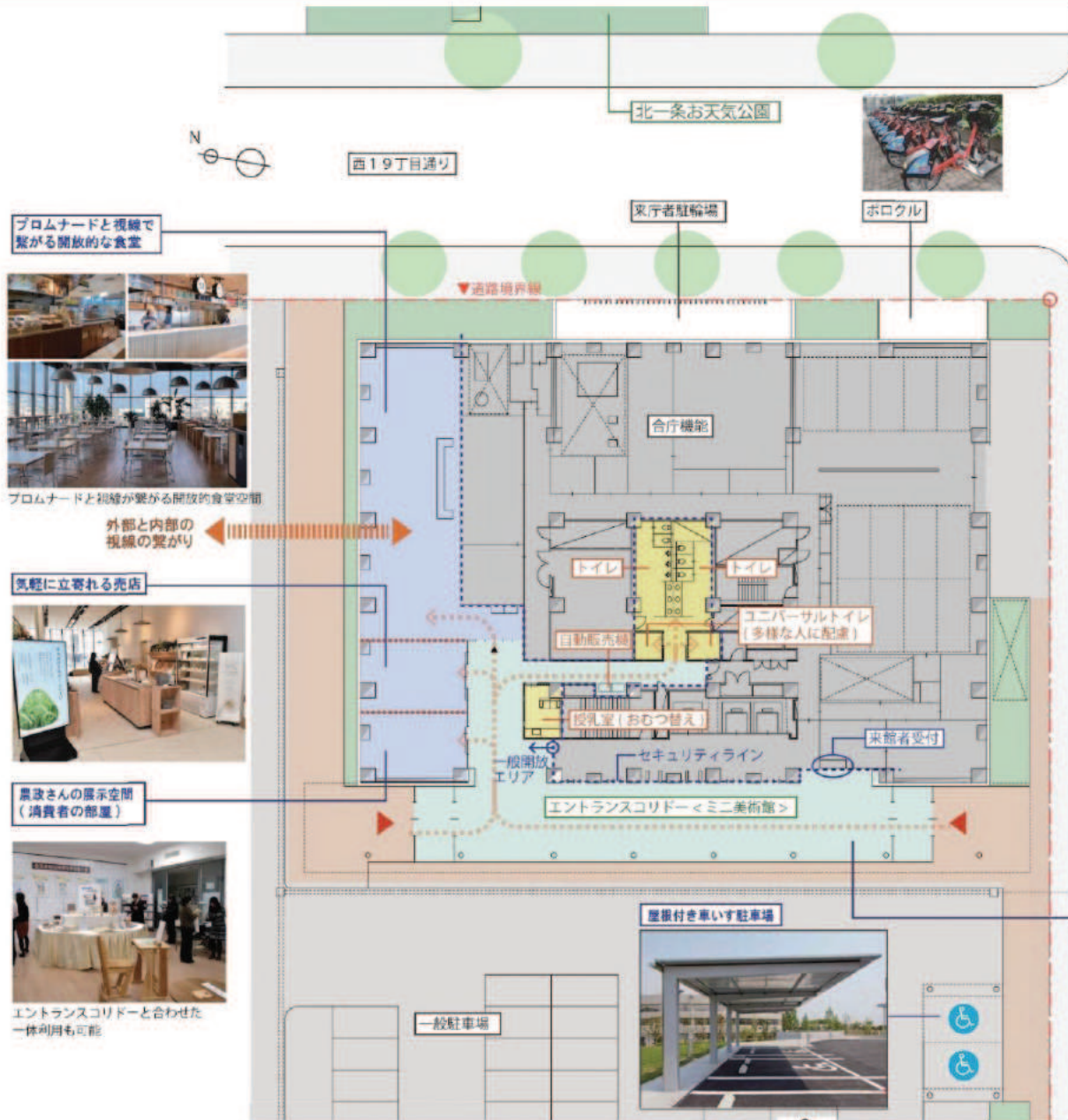
歩行が困難な方のための駐車スペース

各段階での主な視点 施設整備の流れ 地域連携懇談会 (予定)



ユニバーサルデザインの検討③ 共用空間（内部）

参考資料2-11-2地域連携
懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)
資料1



■エント

- 地域に根差し、人との活発な交流や賑わいを促す庁舎計画 -

■ 多様な人が気軽に訪れ、賑わいのあるエントランス空間

- ・周囲の歩行者動線を繋ぎ、人々が気軽に立ち寄れる「アクセスポイント」
- ・プロムナードに面する北側、地下鉄やバス利用者の主動線となる南側の2か所の入り口で周辺地域と施設を繋ぐ「ネットワークポイント」
- ・人の動きや賑わいが感じられ、ふらっと気軽に訪れる「賑わいポイント」



■ 全ての人に分かり易く、使い易いエントランス空間

- ・シンプルな形状と高い視認性による「全ての人に分かり易いエントランス」
- ・エントランスから各機能部にスムーズに連続していく「明快な施設動線」
- ・分かり易い色采やサインなど「全ての人に分かり易い施設計画」
- ・来館する全ての人に優しい「ユニバーサルデザイン」

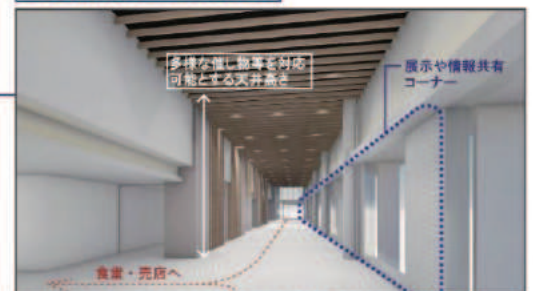


■ 地域と連携し、多様な情報や催し物が楽しめるエントランス空間

- ・近代美術館さんや蔵谷学園高等学校さんとのタイアップ、身近に美術品や生徒さんの作品が身近に楽しめる「ミニ美術館」
- ・多様なインフォメーションや情報を共有できる「情報共有・発信拠点」
- ・「食堂」や「消費者の部屋」等と連動利用可能な「マルチエントランス」



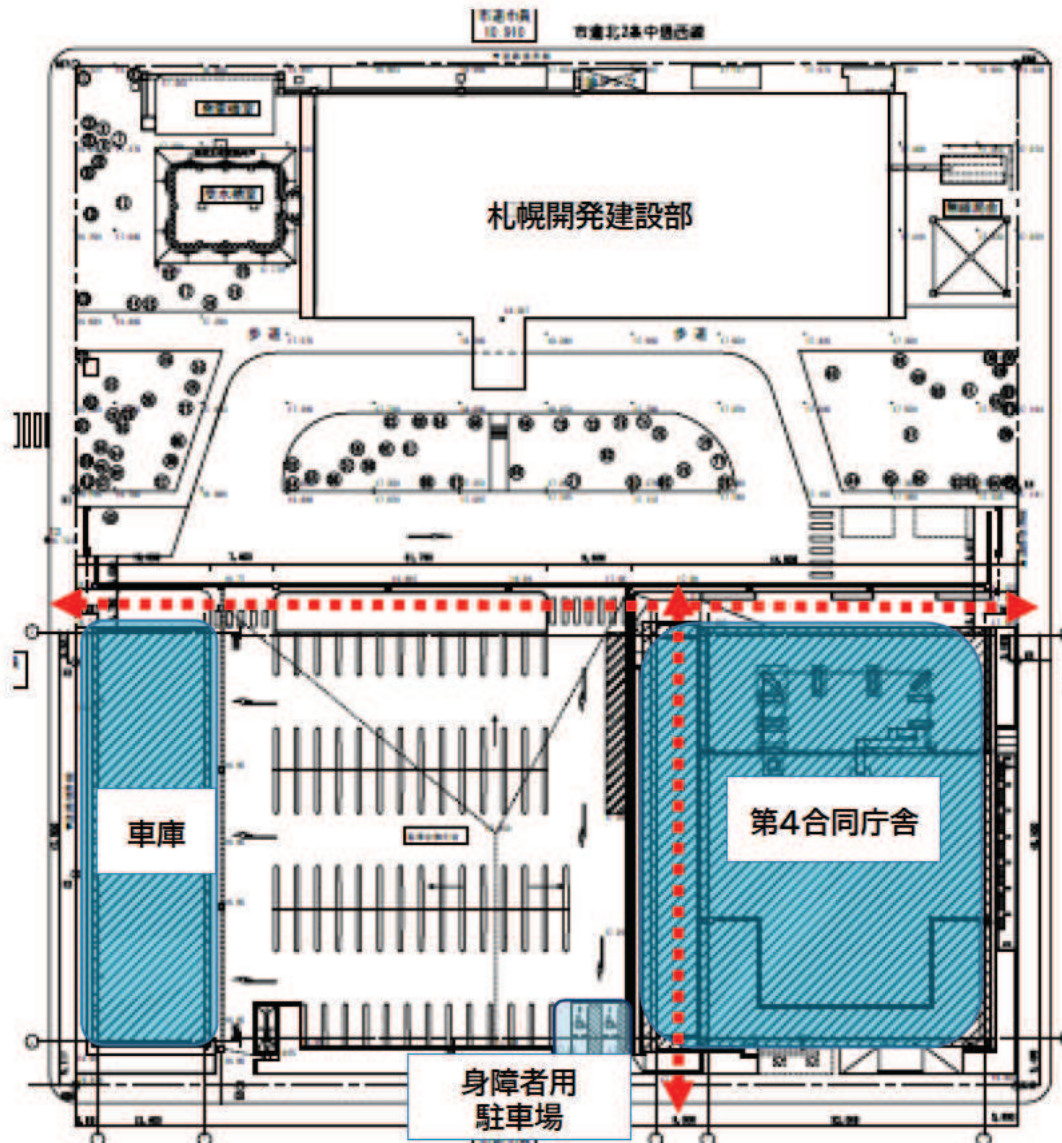
■ エントランスコリドー<ミニ美術館>



人と街をつなぐエントランスコリドー、多様な利活用を可能とし、活発で賑わいのある空間を演出

ユニバーサルデザインの検討④ 共用空間（外部）

参考資料2-11-2地域連携
懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)
資料1



- ・構内段差無し(スロープ:規定勾配)
- ・パブリック:自動ドア・引き戸
- ・昇降路(階段・EV)及び通路設定
- ・外部サイン計画(現場モックアップ決定)
- ・排水溝などの仕様設定
- ・構内仕上げ材の仕様設定

0歳クラス

1歳クラス

2歳クラス

まだ歩けない
歩き始めでたどたどしい
+
歩き慣れている

子ども1~2名に対して
保育者1名



沿道の駐車スペース
歩道上の横断がある

[3月 雪解け]



お散歩カートと手繋ぎのご一行
(人数に応じて列は長くなる)



雪解けの水溜り
駐輪スペースの自転車(無人)
雑然と駐輪されてしまう

地域連携懇談会スケジュール

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料
(第5回懇談会配布資料)-資料1

		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度															
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月												
開催日程				●第1回				●第2回				●第3回				●第4回				●第5回				●第6回				●第7回				●第8回				●第9回	
全体	懇談会主旨	○主旨説明（設計段階）								○工事期間中（施工段階）								○完成				○完成後1年															
周辺環境・景観	経緯・概要・周辺環境・配置・色彩・植栽等	●経緯説明				●実施設計とりまとめ（図面・計画内容等）				●色彩・環境検証				●運用確認																							
	検証・フィードバック	●周辺環境				●基本設計段階（図面・パース・材料等）				●コリドー使い方検証				●反映内容検証 ●完成検証																							
		基本設計				実施設計				施工段階				完成検証				運用段階																			
ユニバーサル	主旨・概要・屋内外空間、案内、構内計画等	●主旨説明				●サイン検証の方向性（CUD・科学大）				●サインプラン検証																											
	検証・フィードバック	●基本計画提示・意見収集				●サインプラン検証				●サインモックアップ				●完成検証																							
		計画段階				設計段階				■CUD勉強会				●UDstep5				●UDstep6																			
1期事業	基本設計	設計・基本段階																																			
	実施設計	実施設計・積算・各種申請																																			
	建設工事	車庫	▼工事発注（手続）								▼完成																										
	庁舎	▼工事発注（手続）								工事期間								▼完成予定																			
2期	2期庁舎等									▼PFI検討業務着手																											
										●概要説明								●経過説明								PFI事業（設計・工事）発注 令和13年度完成											
備考																																					

<これまでの議題>

●第1回	●第2回	●第3回	●第4回	●第5回(予定)	●第6回(予定)	●第7回(予定)
札幌第4地方合同庁舎整備事業概要（配置案） 敷地周辺環境との関係性（周辺環境条件整理） ユニバーサルデザイン（これまでの開発局の取組）	札幌第4地方合同庁舎計画（平面計画、アムナード） 敷地周辺環境との関係性（緑の連続、歴史文化軸）	札幌第4地方合同庁舎計画（コリドー、ミ美術館） 敷地周辺環境との関係性（建物ルーム、外観、CG） UDレビュー（検討状況報告）	札幌第4地方合同庁舎計画（設計の詳細、ミ美術館イメージ） UDレビュー・防災計画（トイレ、授乳室、帰宅困難者受入） 保育園のお散歩同行調査進捗報告（科学大生による調査研究報告）	サイン検証の方向性（CUD・幼児視点） 2期計画概要説明 懇談会経過おさらい	サインプラン検証（CUD・幼児視点） 1期庁舎色彩環境検証	サインモックアップ検証（CUD・幼児視点） UDレビュー コリドー使い方検証 2期計画経過説明

懇談会(第5回)のテーマについて

<テーマ>

1. ユニバーサルデザイン (UD、CUD)
2. サイン
3. パブリックスペース利用

これまで)

- 庁舎のUD、パブリックスペースは懇談会の議論を重ねて方針決定
 - 諸室 (トイレ、授乳室、食堂、コリドー、消費者の部屋)
 - 使い方 (ミニ美術館、帰宅困難者受入)

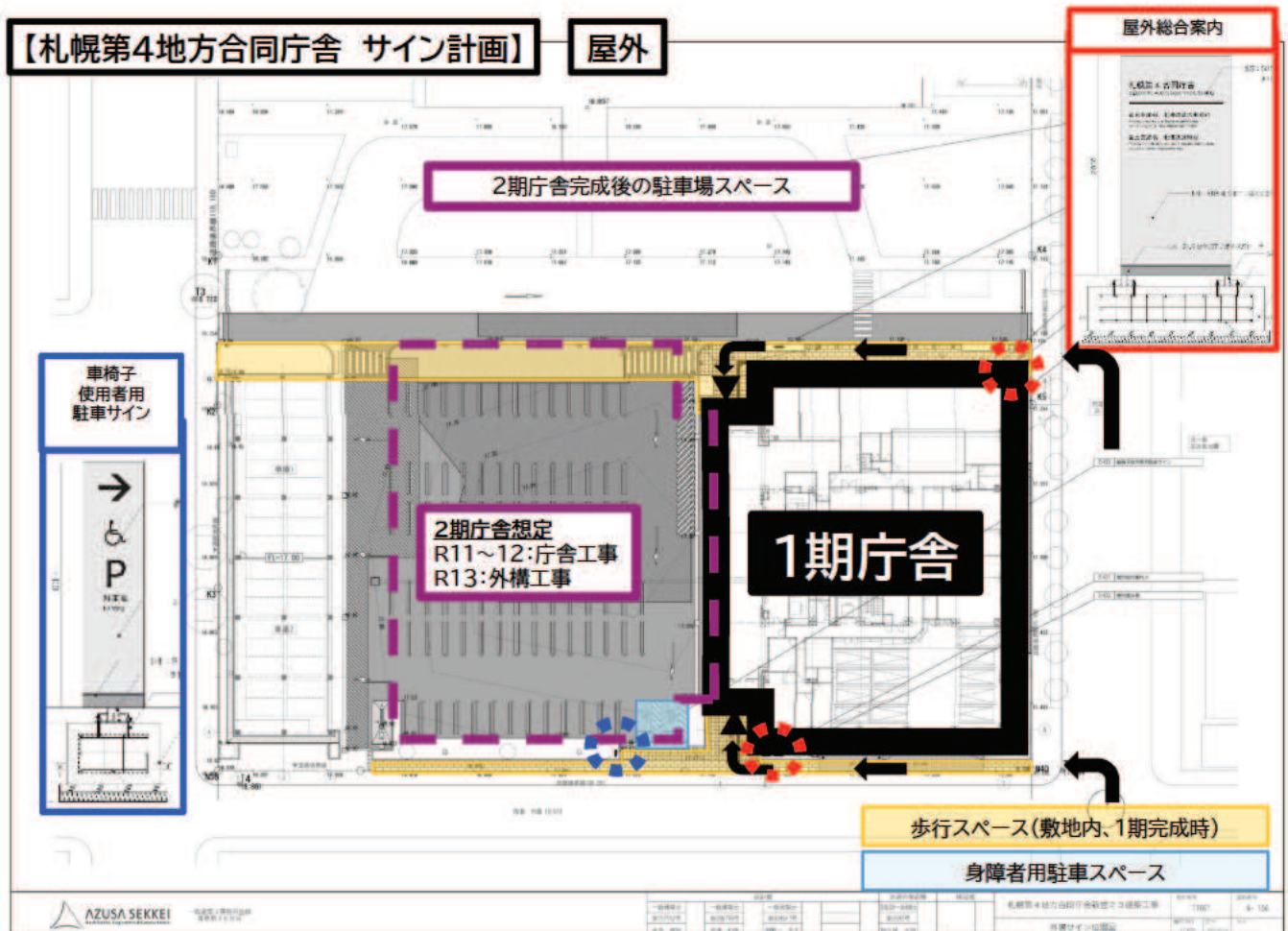
これから)

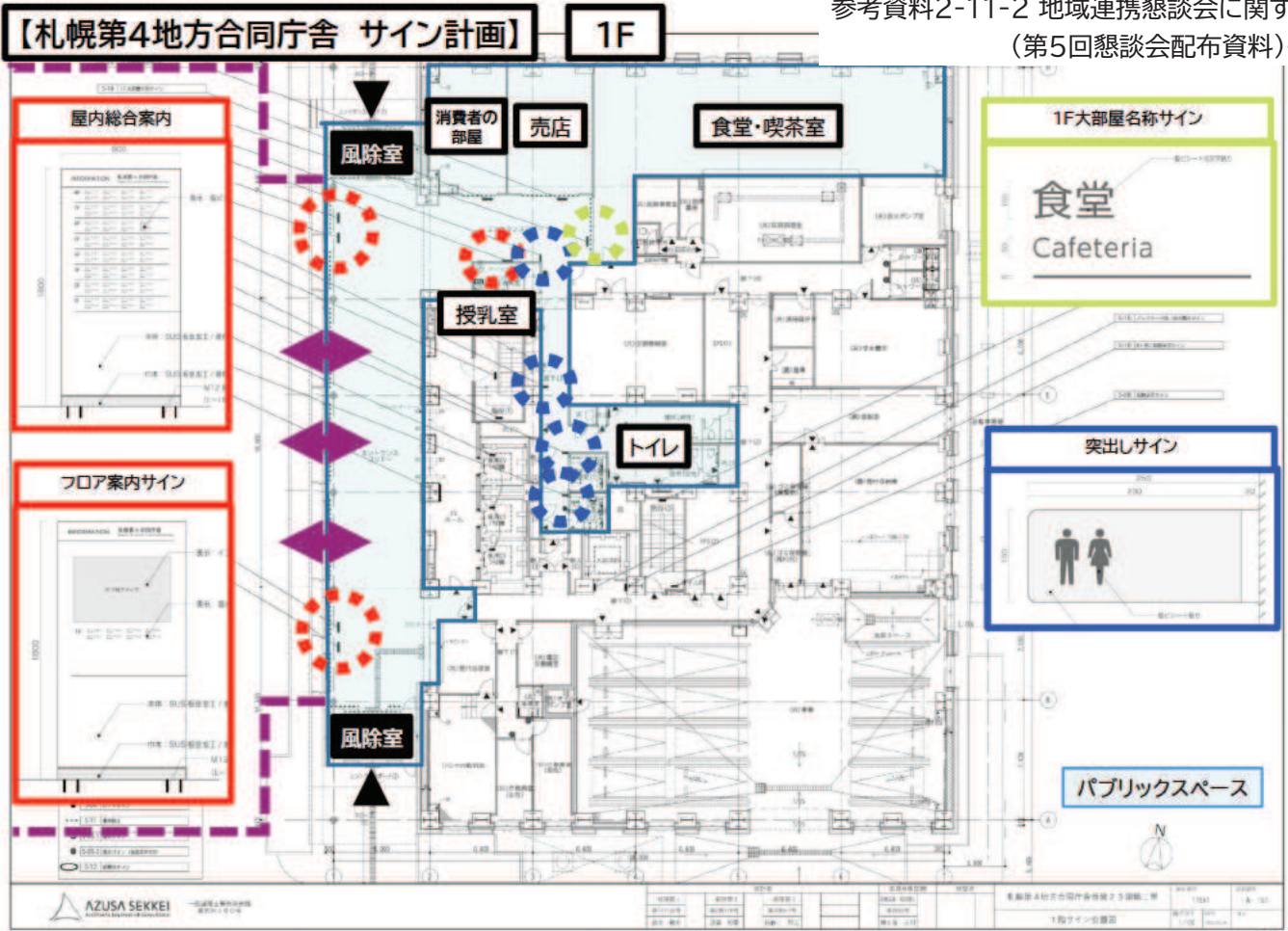
- ★多くの方に利用してもらいたい
 - 多くの方に知ってもらう方法がポイント (サイン、広報等)
- ★さらなる地域の賑わい創出のため
 - I期庁舎、II期庁舎、屋外を含めた使い方がポイント

札幌第4地方合同庁舎のサイン計画について

国土交通省 北海道開発局営繕部

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism





札幌第4地方合同庁舎整備計画の進捗報告 及び前回懇談会の概要

①札幌第4地方合同庁舎整備計画の進捗報告

②前回懇談会の概要

1期庁舎 工事の進捗状況①

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料,
(第6回懇談会配布資料)-資料1



1期庁舎 工事の進捗状況①

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料,
(第6回懇談会配布資料)-資料1



1期庁舎 工事の進捗状況①

参考資料2-11-2 地域連携懇談会に関する資料,
(第6回懇談会配布資料)-資料1



1期庁舎 工事の進捗状況②外壁の色彩計画

参考資料2-11-2、
地域連携懇談会に関する資料
(第6回懇談会配布資料)-資料1



1期庁舎 工事の進捗状況②外壁の色彩計画

参考資料2-11-2、
地域連携懇談会に関する資料
(第6回懇談会配布資料)-資料1



前回懇談会の概要①今後のスケジュールについて

		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度							
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月				
開催日程				●第1回				●第4回								●第5回				●第7回				●第8回				●第9回	
全体	懇談会主旨	○主旨説明（設計段階）								○工事期間中（施工段階）								○完成				○完成後1年							
周辺環境・景観	経緯・概要・周辺環境・配置・色彩・植栽等 検証・フィードバック	●経緯説明 ●周辺環境 ●基本設計段階				●実施設計とりまとめ（図面・計画内容等） ●基本設計段階（図面・パース・材料等）				●色彩・環境検証 ●パブリックスペース利用について ●反映内容検証 ●完成検証								●運用確認											
		基本段階		実施設計						施工段階				完成検証				運用段階											
ユニバーサル	主旨・概要・屋内外空間、案内、構内計画等 検証・フィードバック	●主旨説明 ●基本計画提示・意見収集 ●基本計画とりまとめ				●サイン検証の方向性（CUD・北海道科学大学） ●サインプラン検証 ●サインモックアップ ●反映内容検証 ●完成検証				■CUD勉強会				●UDstep5				●UDstep6											
		計画段階		設計段階		●UDstep1		●UDstep4																					
1期事業	基本設計	設計・基本段階																											
	実施設計	実施設計・積算・各種申請																											
	建設工事									▼工事発注（手続）				▼完成															
	車庫									▼工事発注（手続）				▼完成															
	庁舎									▼工事発注（手続）				▼完成				▼完成予定											
2期	2期庁舎等									▼PF検討業務着手																			
										●概要説明				●経過説明				PF事業（設計・工事）発注 令和13年度完成											
備考																													

これまでの議題	●第1回	●第2回	●第3回	●第4回	●第5回	●第6回	●第7回(予定)
	札幌第4地方合同庁舎整備事業概要（配置案） 敷地周辺環境との関係性（周辺環境条件整理） ユニバーサルデザイン（これまでの開発局の取組）	札幌第4地方合同庁舎計画（平面計画、アムナード） 敷地周辺環境との関係性（緑の連続、歴史文化軸）	札幌第4地方合同庁舎計画（コリドー、ミ美術館） 敷地周辺環境との関係性（建物ボリューム、外観、CG） UDレビュー（検討状況報告）	札幌第4地方合同庁舎計画（設計の詳細、ミ美術館イマジ） UDレビュー・防災計画（トイレ、授乳室、帰宅困難者受入） 保育園のお散歩同行調査進捗報告（北海道科学大学生による調査研究報告）	サイン検証の方向性（CUD・幼児視点） 2期計画概要説明 懇談会経過おさらい	1期庁舎工事の進捗報告 パブリックスペース利用について サインプラン検証（位置、デザイン、CUD）	サインモックアップ検証（位置、デザイン、CUD） UDレビュー コリドー使い方検証 パブリックスペース利用について

委員等による意見交換：バリアフリー及びユニバーサルデザインについて

- ・車椅子、視覚、聴覚その他様々なバリアを解決していくことに努める必要がある。
- ・視覚、聴覚等だけでなく「心のバリアフリー」も含め幅広くチェックする必要がある。
- ・災害時はあらゆる属性の人が来庁する。幅広い意見を聞くことが重要。
- ・階段は子供には不便だが、逆に不便さが子供の安全を守る側面もある。
- ・子供が利用する施設では想定外の行動についての配慮が必要。

委員等による意見交換：案内サインについて

- ・地域の人に開放するスペースは、**入りやすい仕掛け**が必要（サインなど）。
- ・庁舎のトイレなど**一般の人**も気軽に利用できることが分かるとよい。
- ・合同庁舎に北海道農政事務所のPRスペース「**消費者の部屋**」ができる。入りやすい工夫は必要。
- ・入りやすい工夫は北海道科学大学でも課題。現状は口コミ頼り。**サイン等の解決**が望ましい。
- ・幼児目線のサインは子供だけで勝手に入れるというメッセージになる**危険性**もある。
- ・北海道立近代美術館でもサインに関する来館者からの指摘が多い。本議論を参考にしたい。

前回懇談会の概要②第5回概要について

参考資料2-11-2、
地域連携懇談会に関する資料
(第6回懇談会配布資料)-資料1



前回懇談会の概要③これまでの地域連携懇談会

参考資料2-11-2、
地域連携懇談会に関する資料
(第6回懇談会配布資料)
資料1

第1回(令和4年1月)

- ・整備事業概要（配置案）
- ・敷地周辺環境との関係性（条件整理）
- ・ユニバーサルデザイン（これまでの開発局の取組）

第2回(令和4年3月)

- ・庁舎計画（平面計画、プロムナード）
- ・敷地周辺環境との関係性（緑の連続、歴史文化軸）

第3回(令和4年6月)

- ・庁舎計画（コリドー、ミニ美術館）
- ・敷地周辺環境との関係性（建物ボリューム、外観、CG）
- ・ユニバーサルデザインレビュー（検討状況報告）

第4回(令和4年12月)

- ・庁舎計画（設計の詳細、ミニ美術館イメージ）
- ・ユニバーサルデザインレビュー、防災計画（トイレ、授乳室、帰宅困難者受入）
- ・保育園のお散歩同行調査進捗報告（北海道科学大学学生による調査研究報告）

分科会(令和6年7月)

- ・カラーユニバーサルデザイン勉強会

第5回(令和6年12月)

- ・サイン検証の方向性
(カラーユニバーサルデザイン・北海道科学大学研究)
- ・札幌第4 合同庁舎2期計画概要説明

第6回(令和7年3月)

- ・1期庁舎工事の進捗報告
- ・パブリックスペース利用について
- ・サインプラン検証
(位置、デザイン、カラーユニバーサルデザイン)

第6回地域連携懇談会資料

- より皆さんに利用して頂ける庁舎を考える。-

【POINT 1】

- ・ 知って貰う

【POINT 2】

- ・ 安全安心に利用して貰う

【POINT 3】

- ・ 継続的に利用して貰う

【POINT 4】

- ・ II期工事への期待と更なる活性化に繋ぐ

これまでのおさらい2：良好な計画敷地周囲の環境



札幌龍谷高等学校 HP より
創立50年以上の歴史をもつ札幌龍谷高等学校

■ 札幌龍谷学園高等学校正門前の並木道



北海道ファンマガジン HP より
札幌龍谷高騰学校創立を記念して地域の人により植樹された「ベニバナトチノキ」による並木道

■ 敷地北西側交差路より



北側道路を望む 西側道路を望む

■ 敷地西側出入口部と西側に広がる並木道

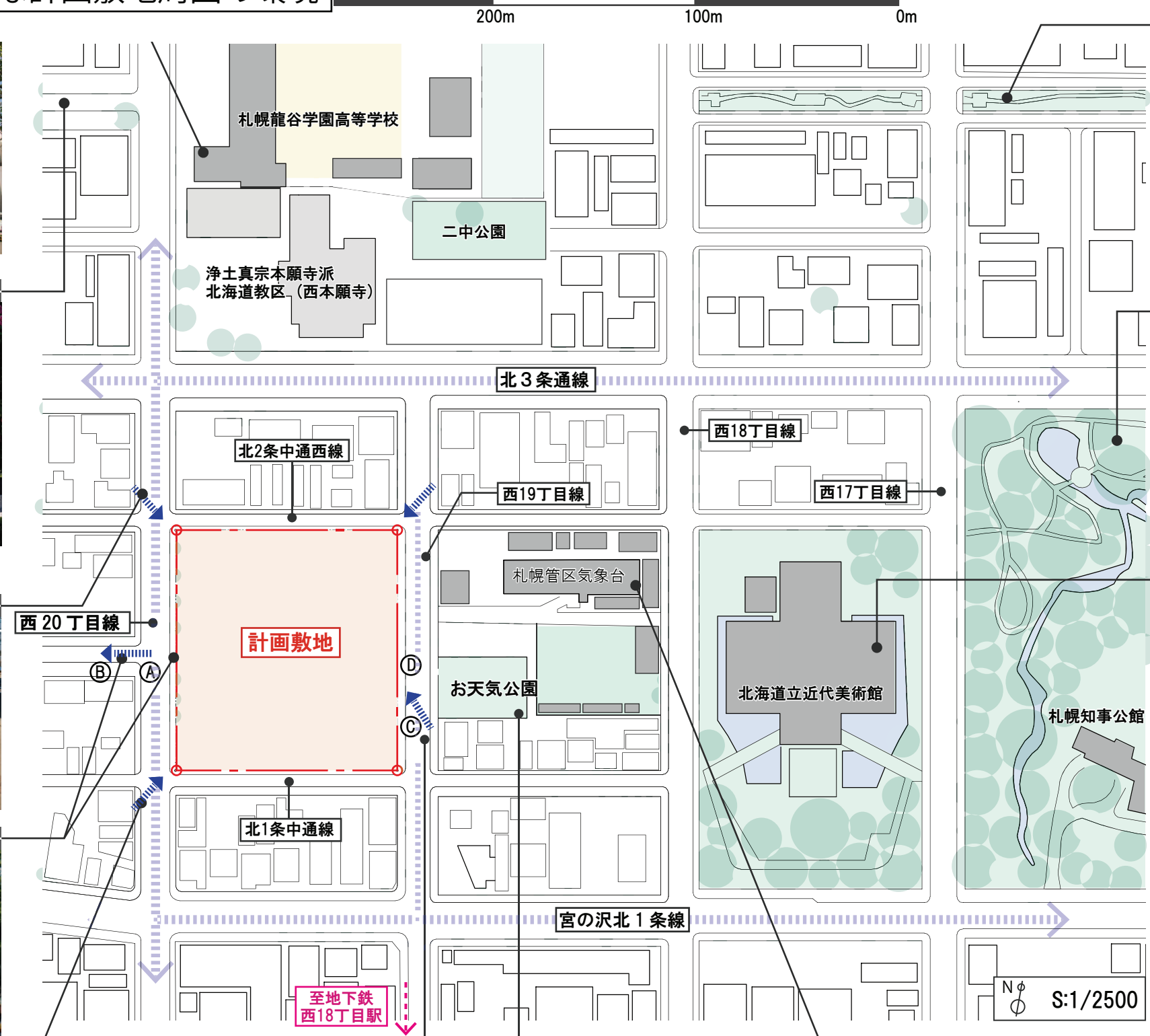


(A) 敷地西側出入口部 (B) 敷地西側の並木道

■ 敷地南西側交差路より



西側道路を望む 南側道路を望む



■ 敷地北東側と南東側交差路より



(C) 東側道路を望む (D) 敷地東側出入口部

■ お天気公園



■ 札幌管区気象台



札幌管区気象台 HP より

■ 高等学校東側並木道 (通称：ミニ大通公園)



Trip.com HP より
植物園から札幌龍谷高等学校まで続く「ミニ大通公園」良好な歩行者空間、イベントも開催される。



■ 札幌知事公館
緑豊かな庭園は、散歩を楽しめる札幌都心部のオアシス



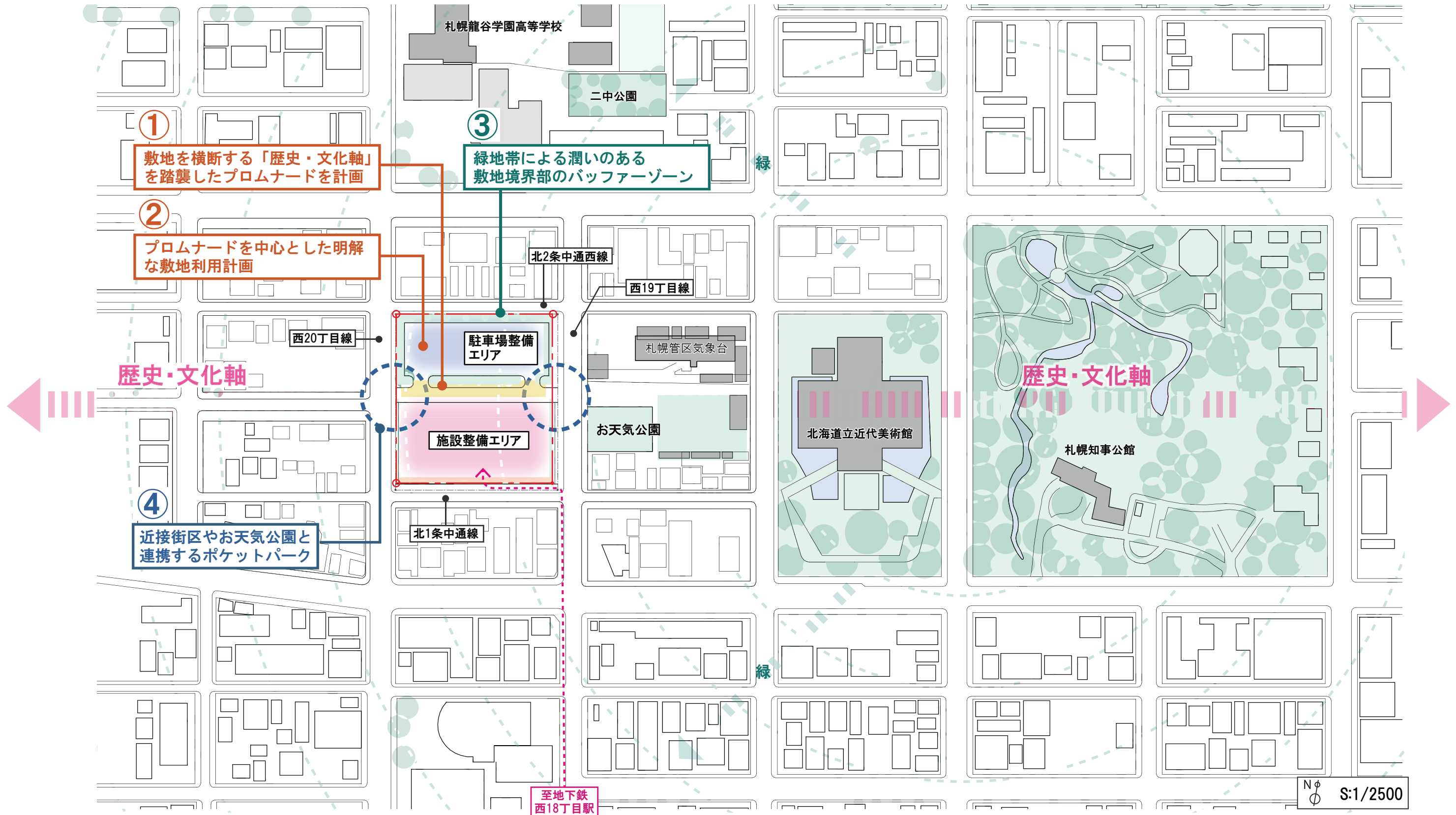
■ 北海道立近代美術館
緑豊かな前庭は一般開放され、カフェ等と合わせ一般利用可能。また地域社会の芸術的土壌を育むという目的で、各種教育・情報サービスを展開している。



- 大倉山からの街の全景 -

大通公園 円山公園 計画地周囲 大倉山

これまでのおさらい3：計画地から生まれるネットワーク



1. 歴史・文化軸の踏襲

敷地を東西に横断する歴史・文化軸を踏襲したプロムナードを設定し、将来のまちづくりを先導する計画とします。

2. 明快なゾーニング構成

敷地の中央に東西を貫く通過動線「プロムナード」を設け、北側に駐車場、南側に庁舎機能を配置する、明快なゾーニング構成とし、利用者にわかりやすい敷地計画とします。

3. 都市の緑地空間の連続

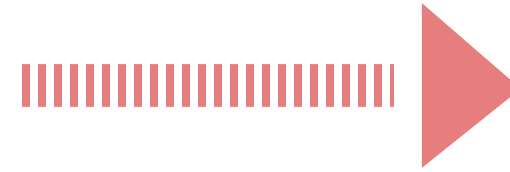
敷地外周部には緑地帯によるバッファゾーンを設けることにより、みどり豊かな知事公館・近代美術館と一体的な都市空間を計画します。

4. 周辺環境との連携・調和

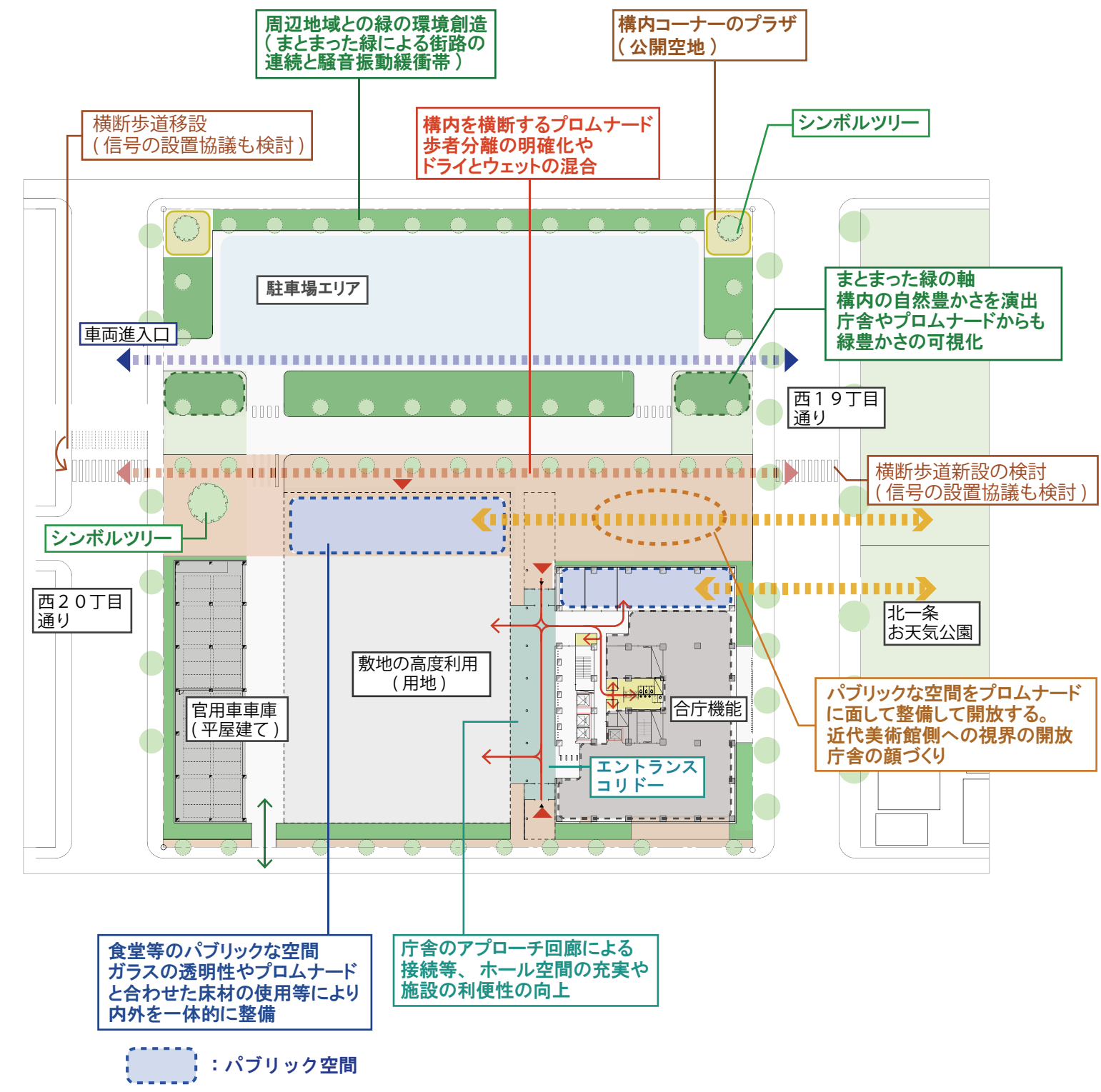
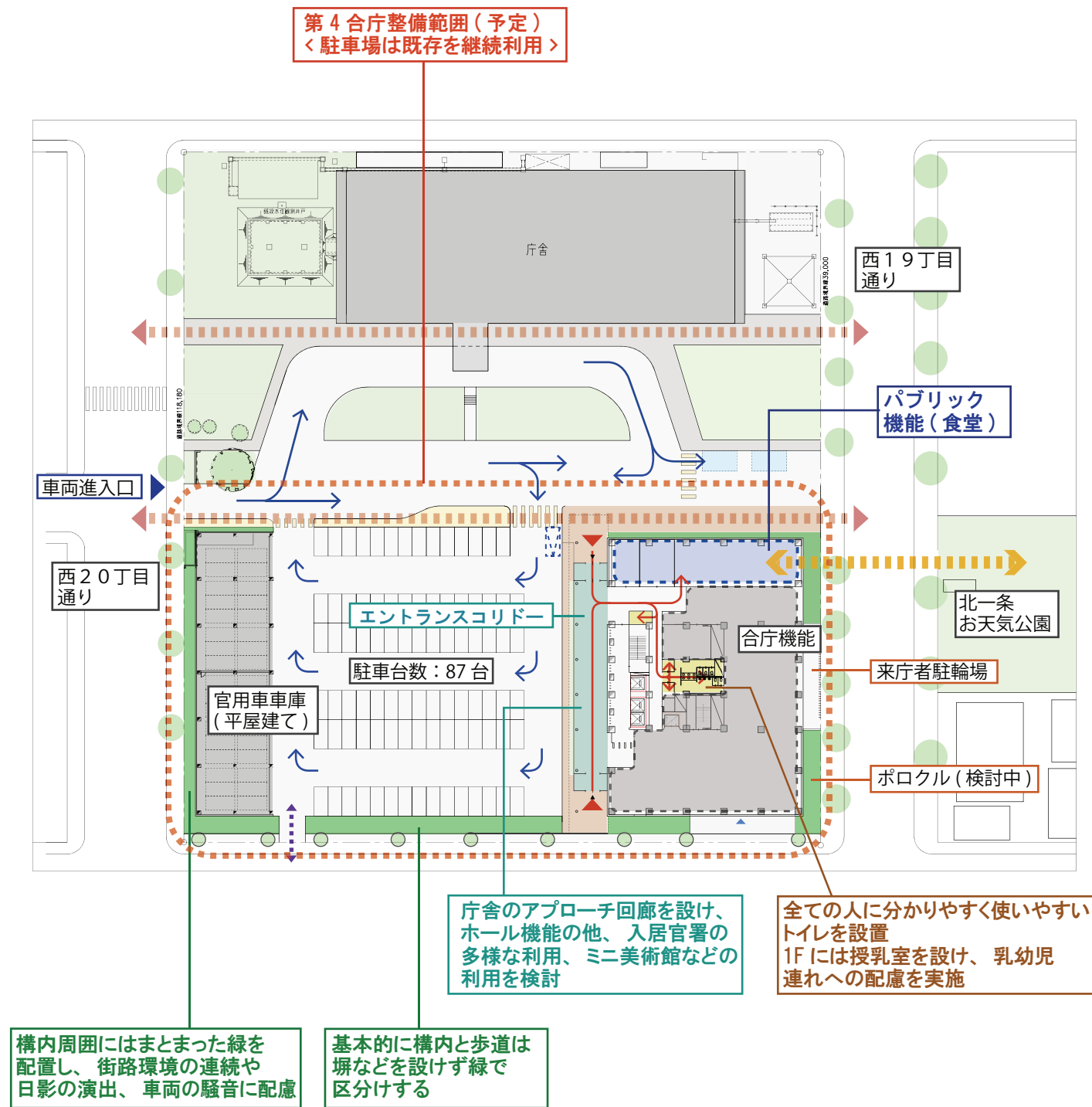
プロムナードの両端にはポケットパークを計画し、お天気公園と連携した緑地空間を創出することで、敷地内外に開かれた憩いの場を形成します。

これまでのおさらい4：今回計画と2期工事

今回整備計画

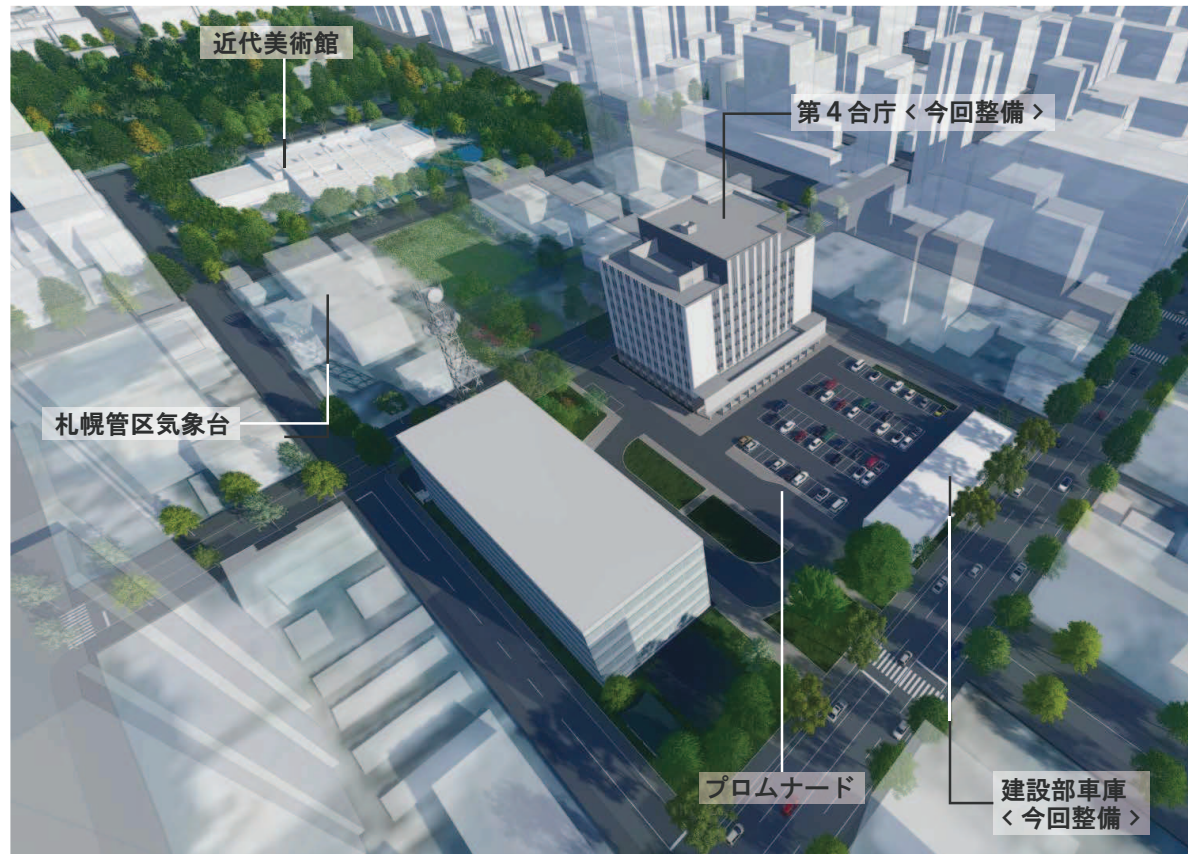


2期整備計画



これまでのおさらい5：今回計画と2期工事の整備イメージ

今回整備計画

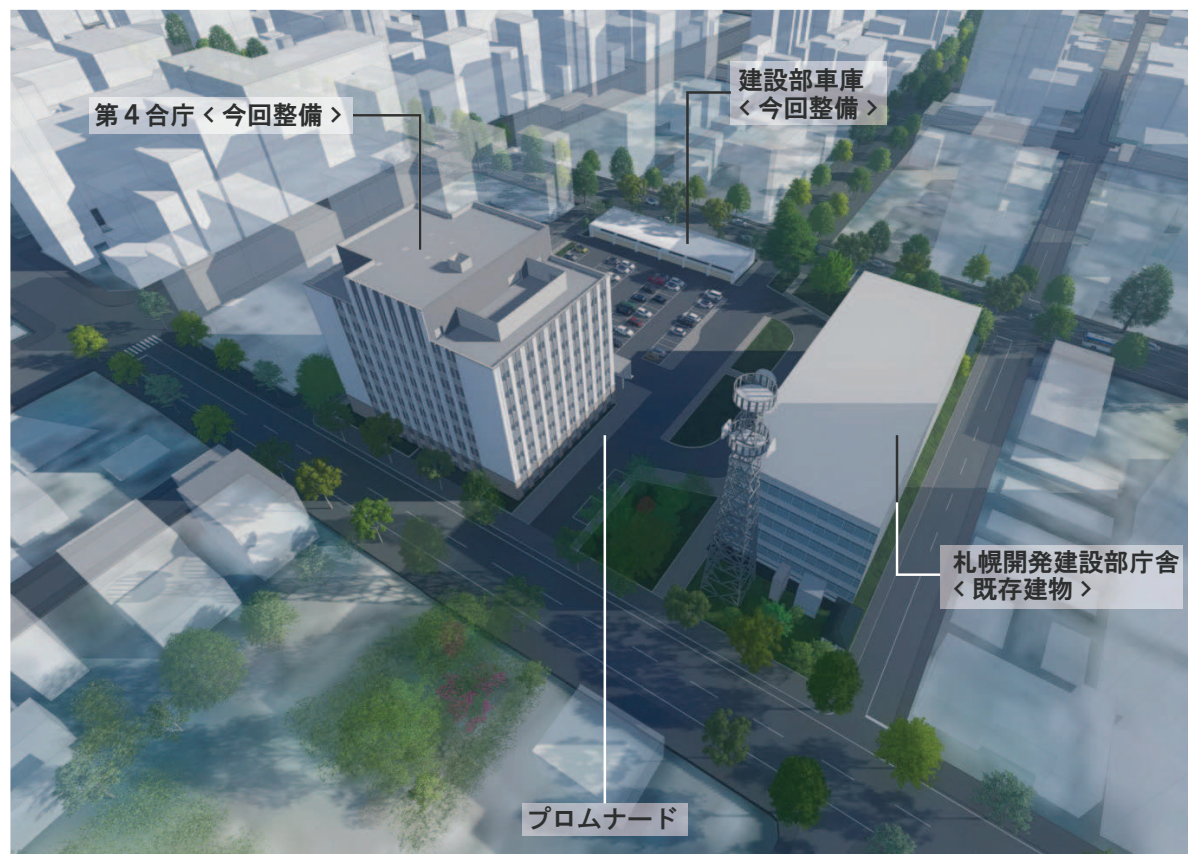


第4合庁完成時 <北西側より俯瞰>

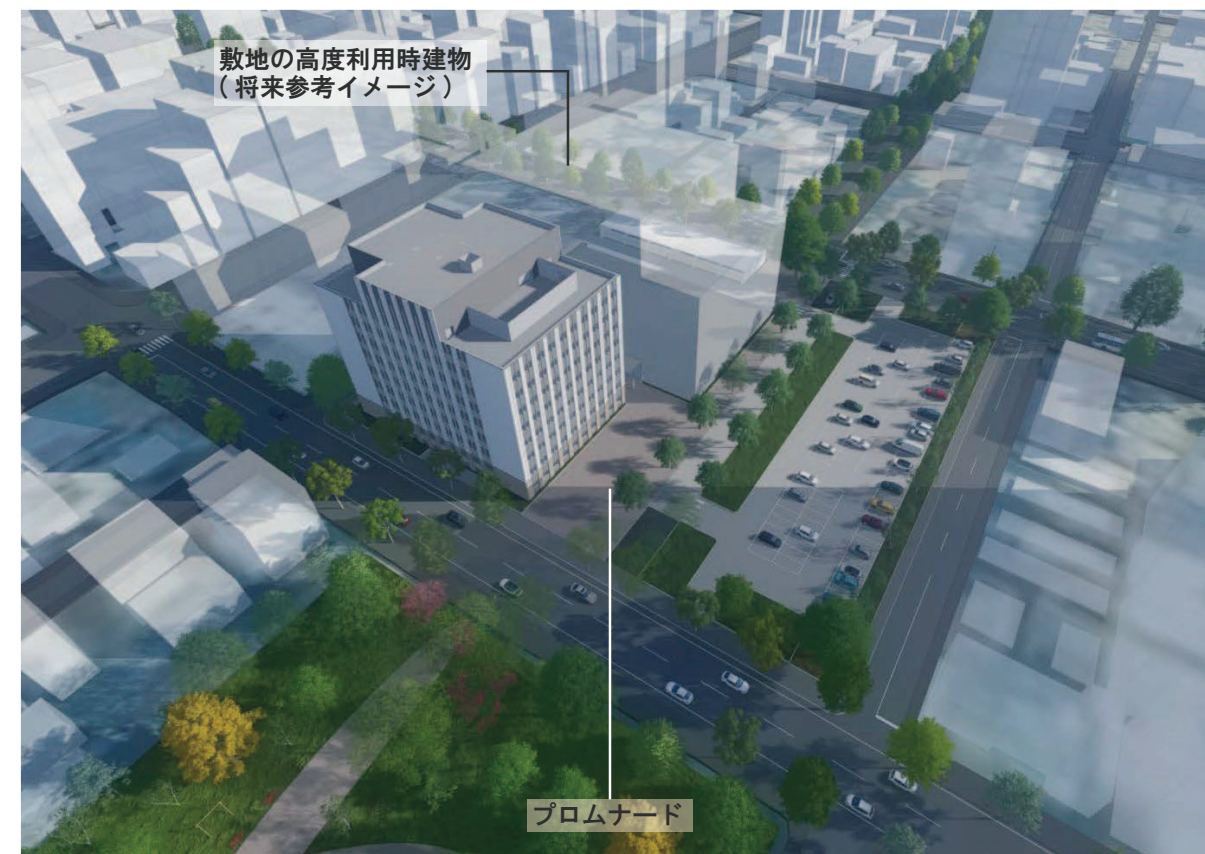
2期整備計画



敷地の高度利用時(将来計画) <北西側より俯瞰>

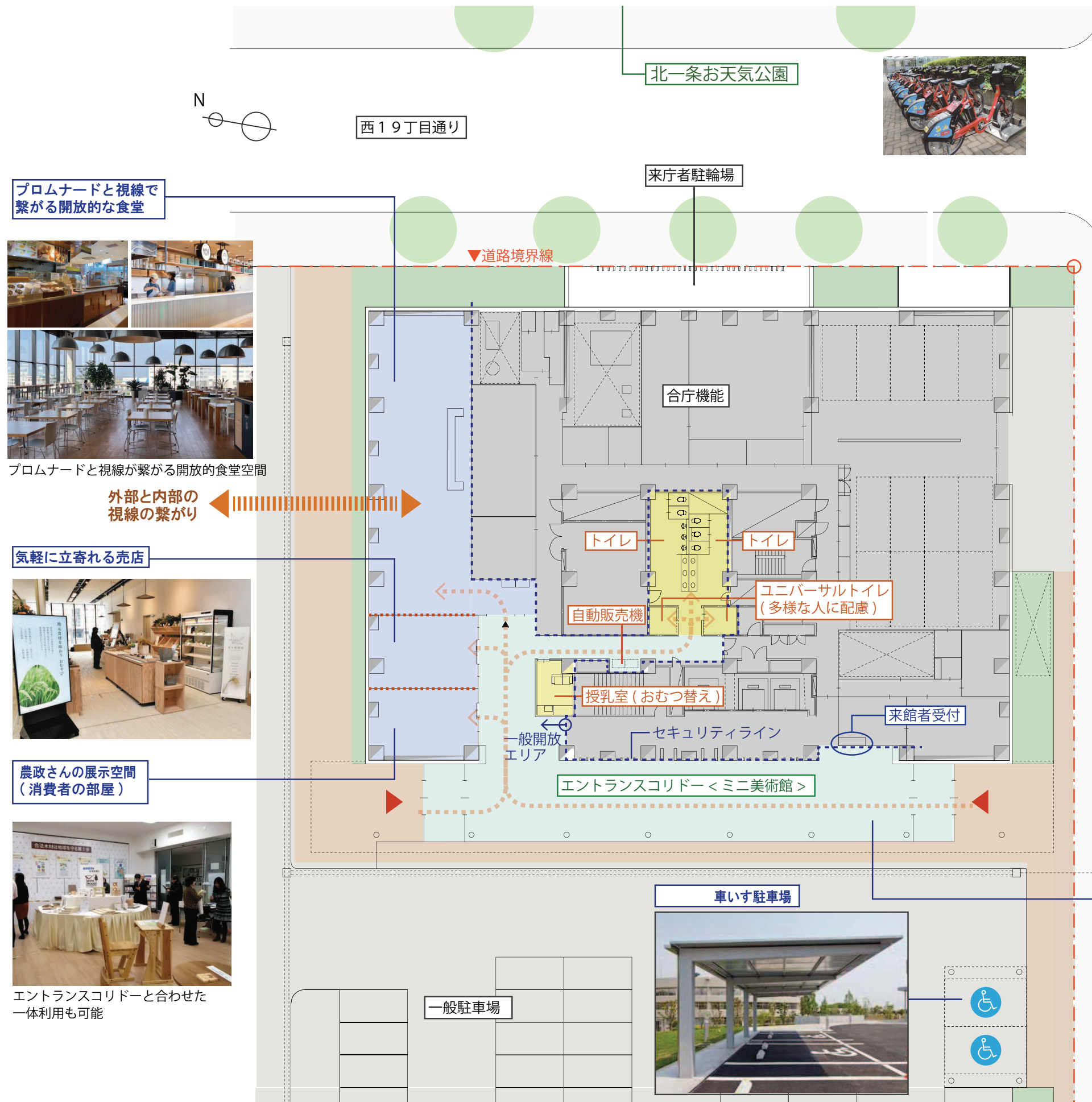


第4合庁完成時 <北東側より俯瞰>



敷地の高度利用時(将来計画) <北東側より俯瞰>

これまでのおさらい6：今回計画で整備するパブリック空間【基本設計時の検討資料<参考>です】



プロムナードと視線で繋がる開放的な食堂



プロムナードと視線が繋がる開放的な食堂空間

外部と内部の視線の繋がりを示す矢印

気軽に立寄れる売店



農政さんの展示空間 (消費者の部屋)



エントランスコリドーと合わせた一体利用も可能

- 地域に根差し、人との活発な交流や賑わいを促す庁舎計画 -

■ 多様な人が気軽に訪れ、賑わいのあるエントランス空間

- ・周囲の歩行者動線を繋ぎ、人々が気軽に立ち寄れる「アクセスポイント」
- ・プロムナードに面する北側、地下鉄やバス利用者の主動線となる南側の2か所の入り口で周辺地域と施設を繋ぐ「ネットワークポイント」
- ・人の動きや賑わいを感じられ、ふらっと気軽に訪れる「賑わいポイント」



■ 全ての人に分かりやすく、使い易いエントランス空間

- ・シンプルな形状と高い視認性による「全ての人に分かり易いエントランス」
- ・エントランスから各機能にスムーズに連続していく「明快な施設動線」
- ・分かり易い色彩やサインなど「全ての人に分かり易い施設計画」
- ・来館する全ての人に優しい「ユニバーサルデザイン」

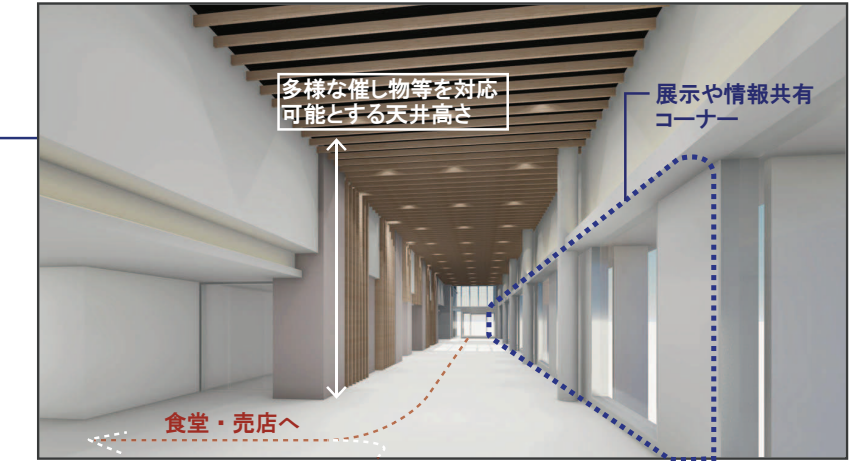


■ 地域と連携し、多様な情報や催し物が楽しめるエントランス空間

- ・近代美術館さんや龍谷学園高等学校さんとのタイアップ、身近に美術品や生徒さんの作品が身近に楽しめる「ミニ美術館」
- ・多様なインフォメーションや情報を共有できる「情報共有・発信拠点」
- ・「食堂」や「消費者の部屋」等と連動利用可能な「マルチエントランス」



エントランスコリドー<ミニ美術館>



人と街をつなぐエントランスコリドー、多様な利活用を可能とし、

- より皆さんに利用して頂ける庁舎を考える。 -

【POINT 1】

・ 知って貰う

知って貰うための仕掛けを考える。

< 外部サインや掲示板、明快な施設案内や様々な人への配慮により、
歩行者や周辺地域の人々を引きつけ敷地および施設への誘導を図る。 >

知って貰うこと < 外部サインやアイストップ等の考え方 >

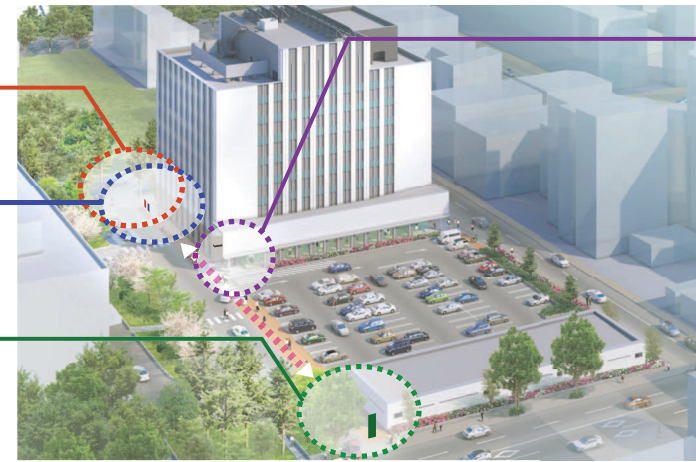
・知って貰うための4つのポイント

- ①外部歩行者や周辺地域の人々に施設を知って貰う仕掛けをつくる。
→アイストップを兼ねた外部サインにより庁舎を知って貰う
- ②敷地内に人を誘う仕掛けをつくる。
→総合案内板や掲示板等のサインにより、敷地内に人々を誘導する。
- ③建物内に人を誘う仕掛けをつくる。
→施設が明解に分かるサインにより、構内歩行者を施設に誘導する。
- ④全ての人に優しい施設であることを知って貰う仕掛けをつくる。
→様々な人が利用可能なことを知って貰う。

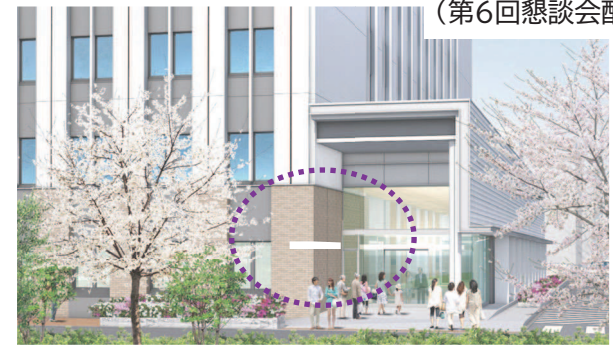
屋外総合案内

イベントやお知らせが
知れる掲示板

アイストップを兼ねた
外部サイン<2期工事>



館内に誘導する壁面サイン



① - 施設を知って貰う仕掛け -

庁舎の目印となるアイストップを
兼ねた外部サイン<2期工事整備>

③ - 建物内に誘う仕掛け -

構内歩行者に施設を知って貰い
館内に誘導する壁面サイン

② - 敷地内に誘う仕掛け -

多様なイベントやお知らせ
が知れる掲示板

第4合庁の屋外総合案内

北側住宅地側からの動線

お天気広場との
動線連携

お天気公園

今回計画建物

2期工事計画
R11~12: 庁舎工事
R13: 外構工事

車いす駐車場サイン

① - 施設を知って貰う仕掛け -

庁舎の目印となる
アイストップを兼ねた
外部サイン<今回工事>

地下鉄からの
主動線

③ 市道
構内歩行者に施設を知って貰い
館内に誘導する壁面サイン

②
多様なイベントやお知らせ
が知れる掲示板サイン

②
第4合庁の屋外総合案内

龍谷高校側
からの動線

地下鉄からの
主動線

外部サインの設置 < 今回工事分 >

【屋外総合案内 A】

- ・第4合同庁舎名称、入居官署、館内案内（1階）館内パブリック利用可能施設案内、各部ピクト表示

【屋外総合案内 B】

- ・第4合同庁舎名称、入居官署、計画敷地と広域案内図、中域案内、敷地内総合案内、現在位置表記、館内案内（1階）、館内パブリック利用可能施設案内、各部ピクト表示

【屋外掲示板】

- ・入居官署からの案内、コリドー内企画のお知らせ、その他、イベントお知らせ等（A4版×8枚）

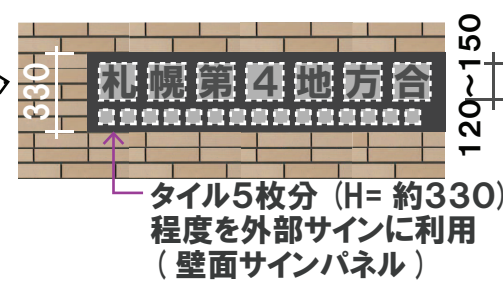
【建物外壁面サイン】

- ・第4合同庁舎名称サイン

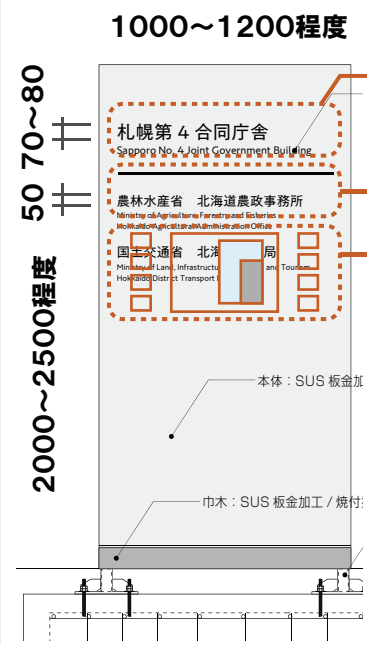
【車いす駐車場案内】

- ・車いす使用者用駐車場サイン

建物外壁面サイン

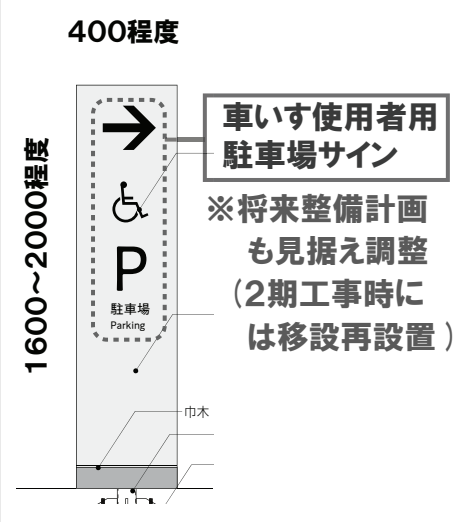


屋外総合案内 A < 盤のサイズは文字調整 >



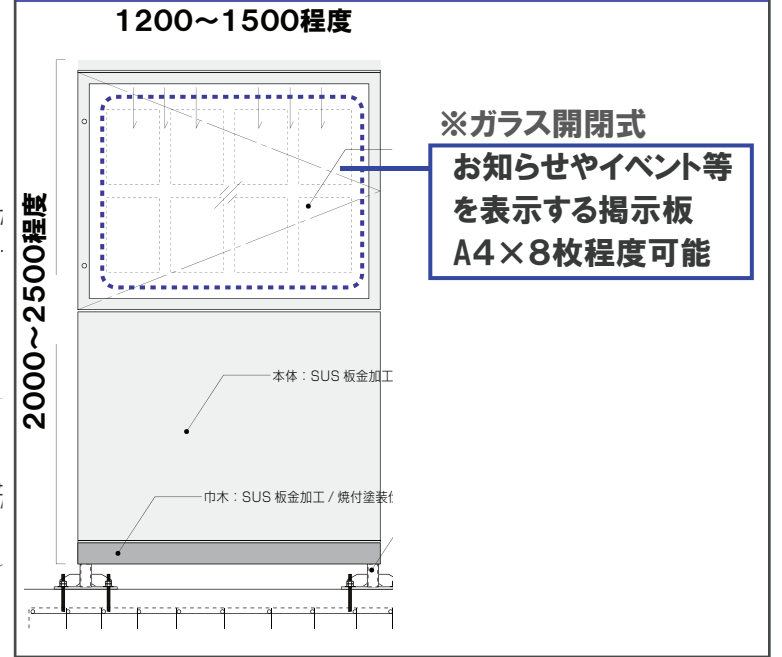
- ※SUS 切文字
第4合同庁舎名称
- ※シルク印刷
入居官署案内
- 館内案内 (1階)**
館内パブリック利用可能施設案内、各部ピクト表示
- ※2期工事後、表示内容が変わるため、庁舎名称以外は、インクジェット出力シート張り

車いす駐車場案内

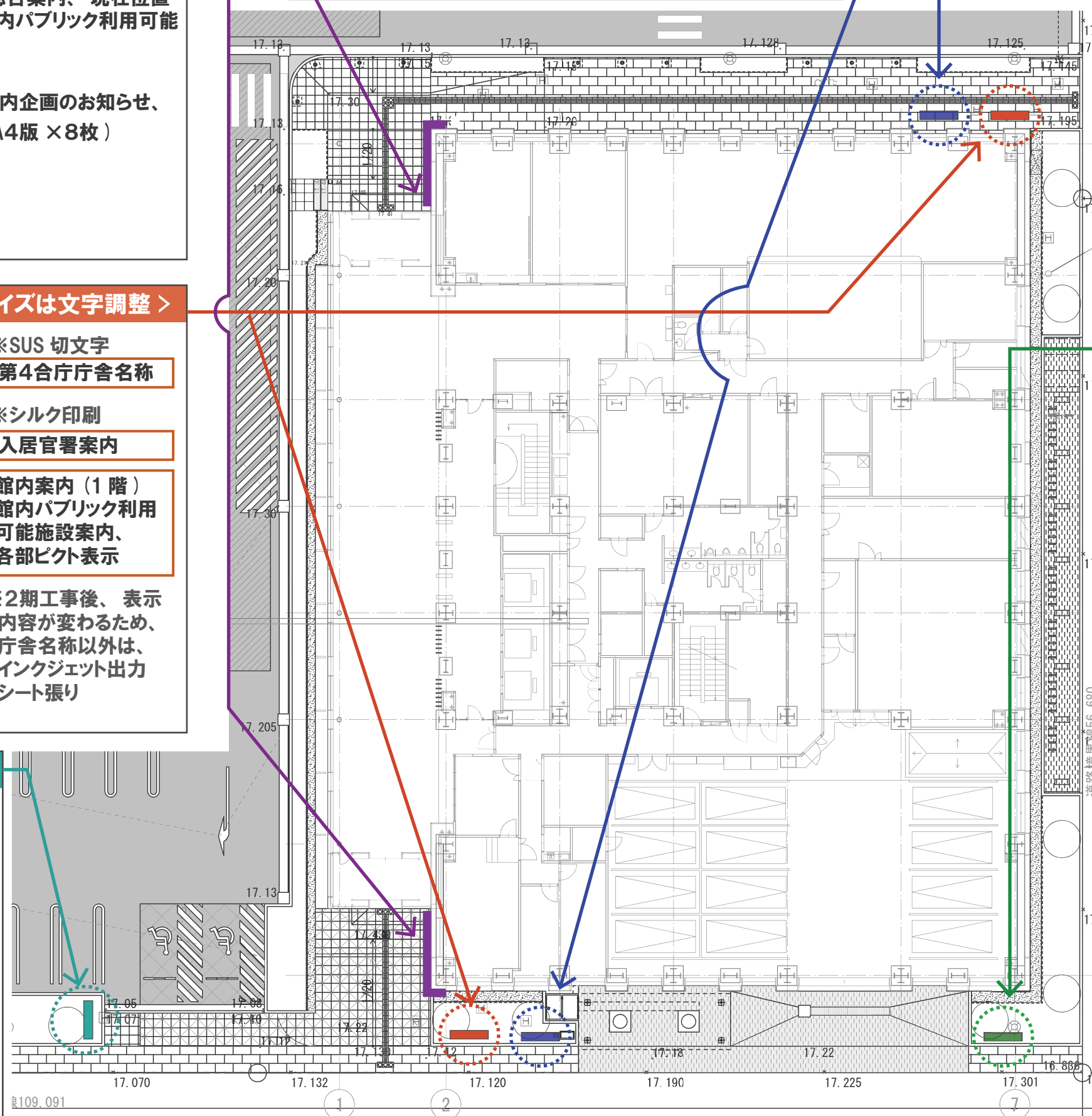
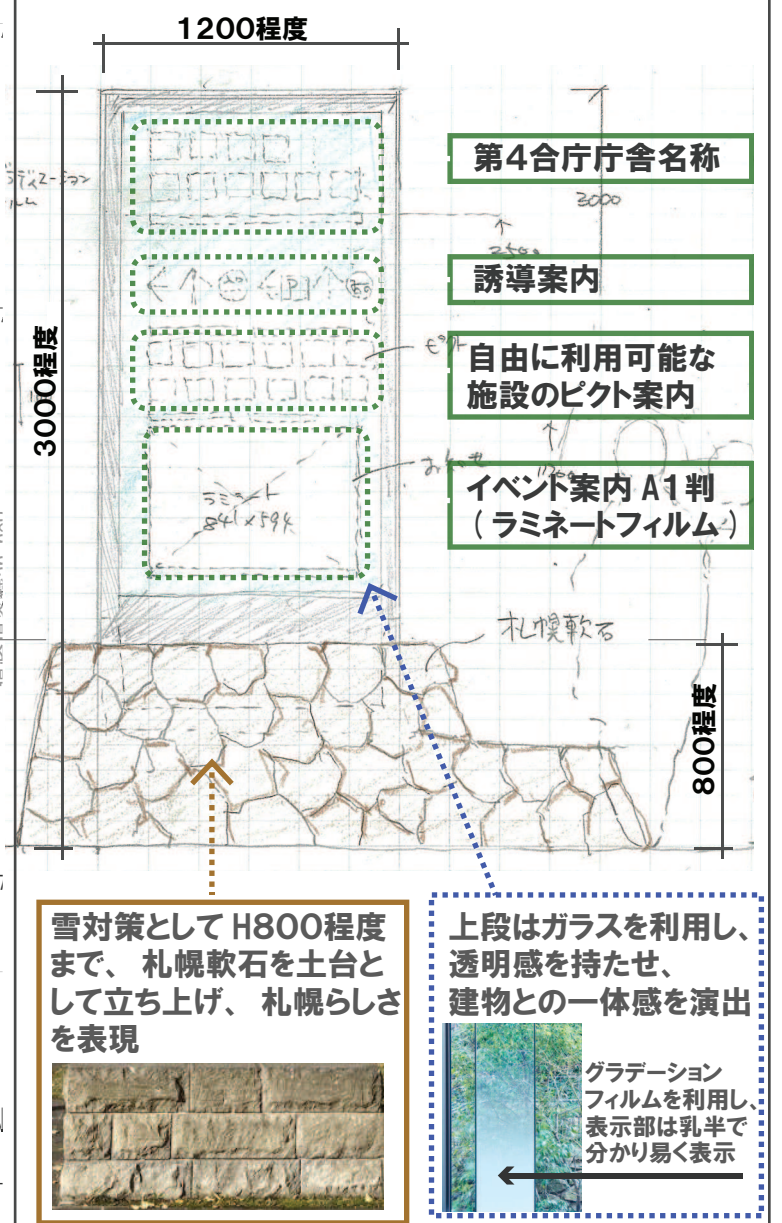


- 車いす使用者用駐車場サイン**
- ※将来整備計画も見据え調整 (2期工事時には移設再設置)

屋外掲示板

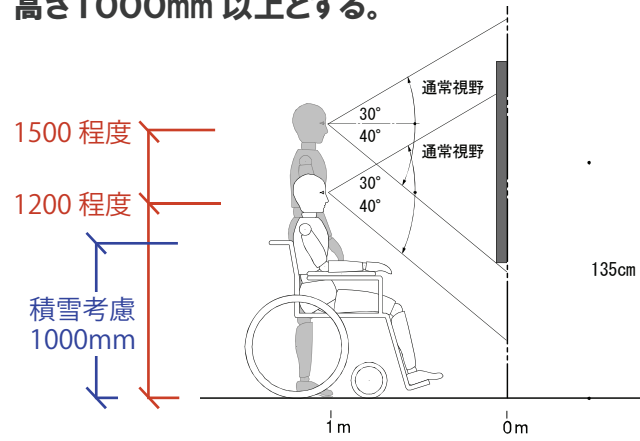


屋外総合案内 B



表示方針の基本1 < 高さの整理 >

- 【表示高さ】
- ・立位の視点は概ね1500mm、車いす利用者の視点は1200mm程度を基準とする。
- 【積雪地であることへの考慮】
- ・北海道の積雪深を考慮し、外部サインの表示は高さ1000mm以上とする。



表示方針の基本2 < 文字の大きさの整理 >

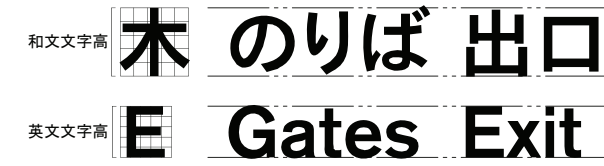
- 【文字の大きさ】
- ・近くから視認する自立型や壁付型等の案内サインは4~5m以下、案内サインの見出しなどは10m程度に視距離を設定することが一般であることを前提に、下記の表を参考に文字大きさを設定する。

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合 < 壁付外部サイン等 >	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合 < 屋外総合案内 A、屋外総合案内 B >	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4~5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1~2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

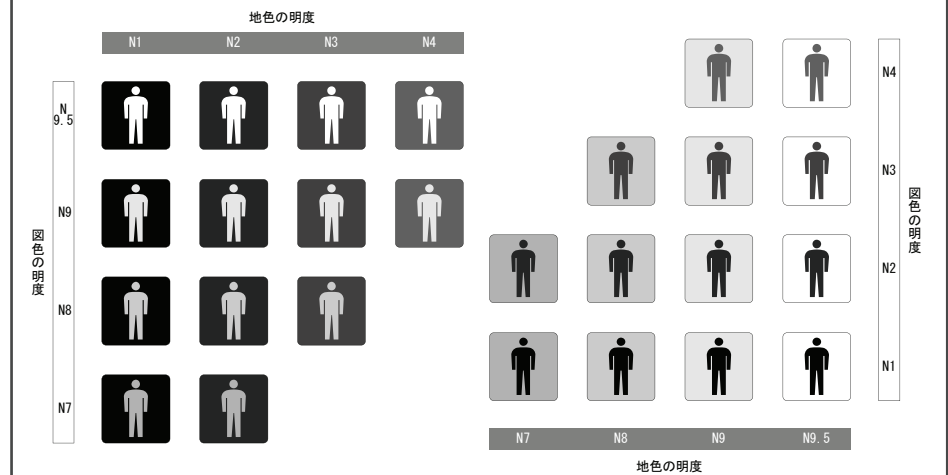
※今回の表記の最小値は10mm以上を基本とする。

表示方針の基本3 < 表記の考え方 >

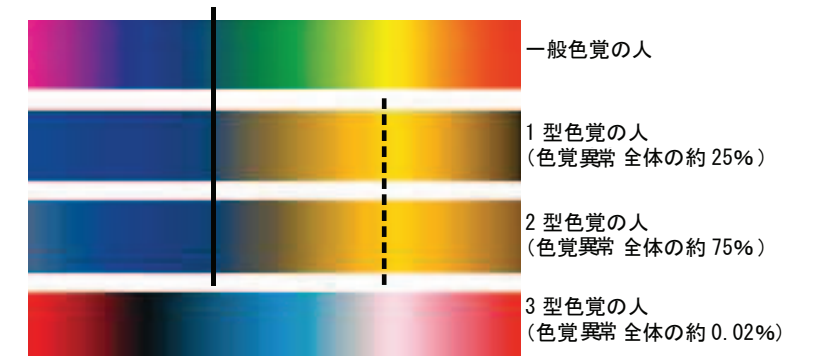
- 【表記の方針】
- ・表記は和文に加え英語を併記する。文字の大きさは和文を主体とし、左図の表を基に整理を行う。



- 【図色と地色の明度の方針】
- ・図色と地色は明度対比を確保し、容易な識別を図る。



- 【色弱者を踏まえた色の選定】
- ・色弱者が色の違いを認識し易い色選定に配慮する計画とする。



出典: 神奈川県「カラーバリアフリー『色づかいのガイドライン』」平成

表示方針の基本4 < フォントの整理 >

- 【使用フォント】
- ・使用するフォントは分かり易さに加え、親しみの持たれる柔らかな UD ゴシックを基本とする。
 - ・合同庁舎という専門性を持つ施設であり、観光地や公共交通の場ではないことから、日本語と英語の2か国語表記を基本とする。

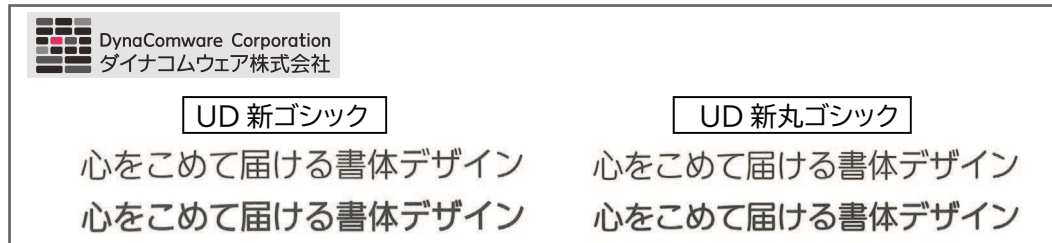
< 国交省参考 >



< モリサワフォント > 出典: モリサワ HP より



< ダイナフォント > 出典: ダイナフォント HP より



< BIZ UD ゴシック BIZ UDP ゴシック > インストールフォント



表示方針の基本5 < ピクトの整理 >

- 【使用ピクト】
- ・使用するピクトは JIS 規格のピクトを基本とし、誰もが分かり易いピクトを採用します。

【使用予定ピクト】 : 総合案内 B の表示を想定

特記なき出典参考: 国土交通省総合政策局バリアフリー作成課「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」(一部調整)

- より皆さんに利用して頂ける庁舎を考える。-

【POINT 2】

- ・ 安全安心に利用して貰う

安全安心に利用して貰うための仕掛けを考える。
< 突出しサインやピクトグラムを効果的に用いることにより、
直感的でわかりやすい空間づくりを図る。 >